

**SUPER  
FORMULA**

**JRP**  
Japan race promotion Inc.



# 2017 SUPER FORMULA MEDIA GUIDE



Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

**HITACHI**  
Inspire the Next  
©日立オートモティブシステムズ

**SONY**  
Action Cam

**WENKI-CHI**  
人気酒造

Broadcasting Partner

**BSフジ J SPORTS**

# 2017 SUPER FORMULA Media Guide

2017開催日程	3
エントリーリスト	4
賞典	5
観客動員数	6
メディア配信	7
車両規定抜粋	8
スポーティングレギュレーション抜粋	9
チーム&ドライバー紹介	10
サーキットガイド	33
2016 レースリザルト	36
1996-2016 ポイントランキング	38
歴代チャンピオン	49
SUPER FORMULA記録集	50
肖像権について	53

**SUPER FORMULA Official Website** メディア会員にご登録ください。

<http://superformula.net> ⇒ メディア

メディア会員専用ページでは、メディアの方向けの広報写真、予選速報、プレスリリース等のサービスを行っております。ご登録の上、ご活用ください。



# 2017 SUPER FORMULA SCHEDULE

## 2017 SUPER FORMULA 開催日程

ラウンド	日程	サーキット	所在地	予選方式	レース	備考
第1戦	4/22 (土) ~23 (日)	鈴鹿サーキット	三重県	ノックアウト	200km	全日本フォーミュラ3選手権併催 MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催 Enjoy Honda併催※1
第2戦	5/27 (土) ~28 (日)	岡山国際サーキット	岡山県	ノックアウト	2レース制	全日本フォーミュラ3選手権併催 Enjoy Honda併催※1 TOYOTA GAZOO Racing PARK 併催※2
第3戦	7/8 (土) ~9 (日)	富士スピードウェイ	静岡県	ノックアウト	250km	全日本フォーミュラ3選手権併催 Enjoy Honda併催※1 TOYOTA GAZOO Racing PARK 併催※2
第4戦	8/19 (土) ~20 (日)	ツインリンクもてぎ	栃木県	ノックアウト	250km	MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催 Enjoy Honda併催※1
第5戦	9/9 (土) ~10 (日)	オートボリス	大分県	ノックアウト	250km	全日本フォーミュラ3選手権併催 MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催 TOYOTA GAZOO Racing PARK 併催※2
第6戦	9/23 (土) ~24 (日)	スポーツランドSUGO	宮城県	ノックアウト	250km	全日本フォーミュラ3選手権併催 Enjoy Honda併催※1 TOYOTA GAZOO Racing PARK 併催※2
第7戦	10/21 (土) ~22 (日)	鈴鹿サーキット	三重県	ノックアウト	2レース制	TOYOTA GAZOO Racing PARK 併催※2

※1 Enjoy Hondaとは、ホンダ主催の「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなで楽しむイベントです。

※2 TOYOTA GAZOO Racing PARKとは、お子さまから大人まで、すべての車好きが楽しめるイベントです。



# 2017 SUPER FORMULA ENTRY LIST

## 2017年エントリーリスト

No.	ドライバー	車名	チーム名(読み)	監督	エンジン
1	<b>国本 雄資</b> Yuji Kunimoto 1990/9/12生 日本/神奈川県	P.MU/CERUMO・INGING SF14	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	<b>石浦 宏明</b> Hiroaki Ishiura 1981/4/23生 日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING SF14			
3	<b>ニック・キャンディ</b> Nick Cassidy 1994/8/19生 ニュージーランド	FUJI CORPORATION KONDO SF14	KONDO RACING (コンドレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	<b>山下 健太</b> Kenta Yamashita 1995/8/3生 日本/千葉県	FUJI CORPORATION KONDO SF14			
7	<b>フェリックス・ローゼンクヴィスト</b> Felix Rosenqvist 1991/11/7生 スウェーデン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA R14A
8	<b>大嶋 和也</b> Kazuya Oshima 1987/4/30生 日本/群馬県	SUNOCO TEAM LEMANS SF14			
10	<b>塚越 広大</b> Koudai Tsukakoshi 1986/11/20生 日本/栃木県	REAL SF14	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
15	<b>ピエール・ガスリー</b> Pierre Gasly 1996/2/7生 フランス	TEAM MUGEN SF14	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	<b>山本 尚貴</b> Naoki Yamamoto 1988/7/11生 日本/栃木県				
18	<b>小林 可夢偉</b> Kamui Kobayashi 1986/9/13生 日本/兵庫県	KCMG Elyse SF14	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	<b>関口 雄飛</b> Yuhi Sekiguchi 1987/12/29生 日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	<b>ヤン・マーデンボロー</b> Jann Mardenborough 1991/9/9生 イギリス	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14			
36	<b>アンドレ・ロツテラー</b> Andre Lotterer 1981/11/19生 ドイツ	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チームトムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	<b>中嶋 一貴</b> Kazuki Nakajima 1985/1/11生 日本/愛知県	VANTELIN KOWA TOM'S SF14			
40	<b>野尻 智紀</b> Tomoki Nojiri 1989/9/15生 日本/茨城県	DOCOMO DANDELION M40S SF14	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	<b>伊沢 拓也</b> Takuya Izawa 1984/6/1生 日本/東京都	DOCOMO DANDELION M41Y SF14			
50	<b>小暮 卓史</b> Takashi Kogure 1980/8/1生 日本/群馬県	B-Max Racing team SF14	B-Max Racing team (ビーマックスレーシング チーム)	組田 龍司	HONDA HR-417E
64	<b>中嶋 大祐</b> Daisuke Nakajima 1989/1/29生 日本/愛知県	NAKAJIMA RACING SF14	TCS NAKAJIMA RACING (ティージーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	<b>ナレイン・カーティケヤン</b> Narain Karthikeyan 1977/1/14生 インド	NAKAJIMA RACING SF14			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台 トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台 タイヤ:ヨコハマ

## シリーズ賞典

スーパーフォーミュラは各レースでの入賞成績に応じてポイントが与えられ、年間の合計でシリーズチャンピオンを決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられ、チャンピオン獲得者には下記賞典が授与されます。



### 年間チャンピオンドライバー

正賞	副賞	
ドライバーズチャンピオンカップ	賞金 (JRP)	
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯 (自由民主党)		日本の自動車産業育成およびモータースポーツの普及と育成への貢献を表して授与される。 ※自由民主党モータースポーツ振興議員連盟とは、日本国内の自動車産業ならびに自動車文化の向上、またモータースポーツを通じて社会貢献を行い、その他様々な活動を行うことを目指して設立された連盟。
観光庁長官杯 (観光庁)		自動車競技を通じ、体力の向上ならびに心身の健全育成に寄与し、国内の交流ならびに国際親善、観光振興への貢献を称え授与される。

### 年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
経済産業大臣杯 (経済産業省)	賞金 (JRP)	日本の産業の基幹である自動車産業を広く内外に示し、フォーミュラカーレースを通して自動車振興に寄与したことを表し授与される。

### ルーキー・オブ・ザ・イヤー

正賞	副賞	
トロフィー	賞金 (JRP)	

## シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

Series Partner

# HONDA

本田技研工業株式会社  
<http://www.honda.co.jp/>

# TOYOTA

トヨタ自動車株式会社  
<http://www.toyota.co.jp/>

Promotion Partner

**HITACHI**  
 Inspire the Next

日立オートモティブシステムズ

<http://www.hitachi-automotive.co.jp/>

**SONY**

Action Cam

ソニー株式会社

<http://www.sony.jp/actioncam/>

**NINKI-ICHI**  
 人気酒造

人気酒造株式会社

<http://www.ninki.co.jp/>

Series Supporter

**YOKOHAMA**

横浜ゴム株式会社

<http://www.y-yokohama.com>

Broadcasting Partner

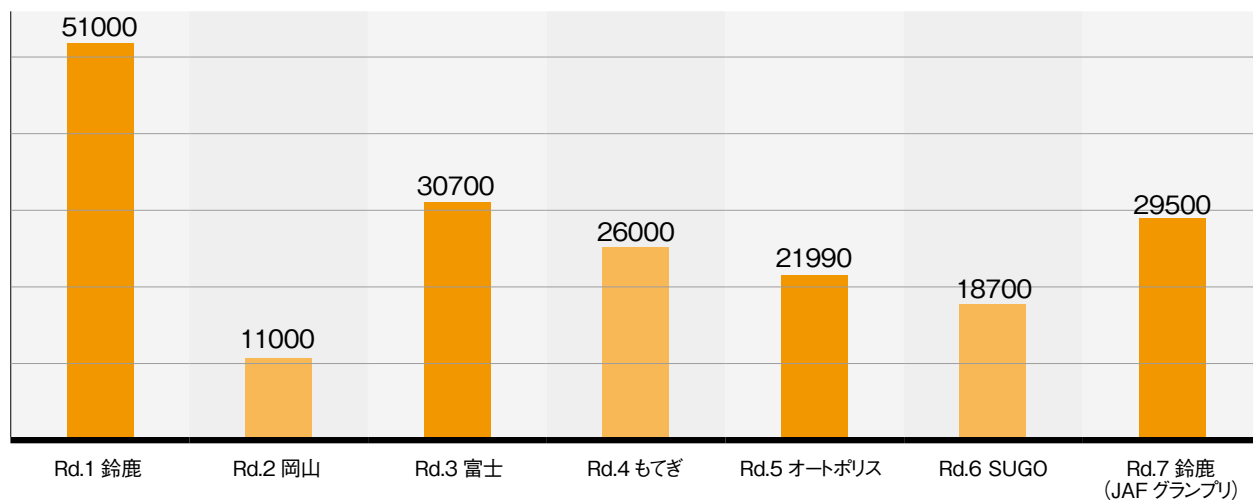
**BSフジ**

**J SPORTS**

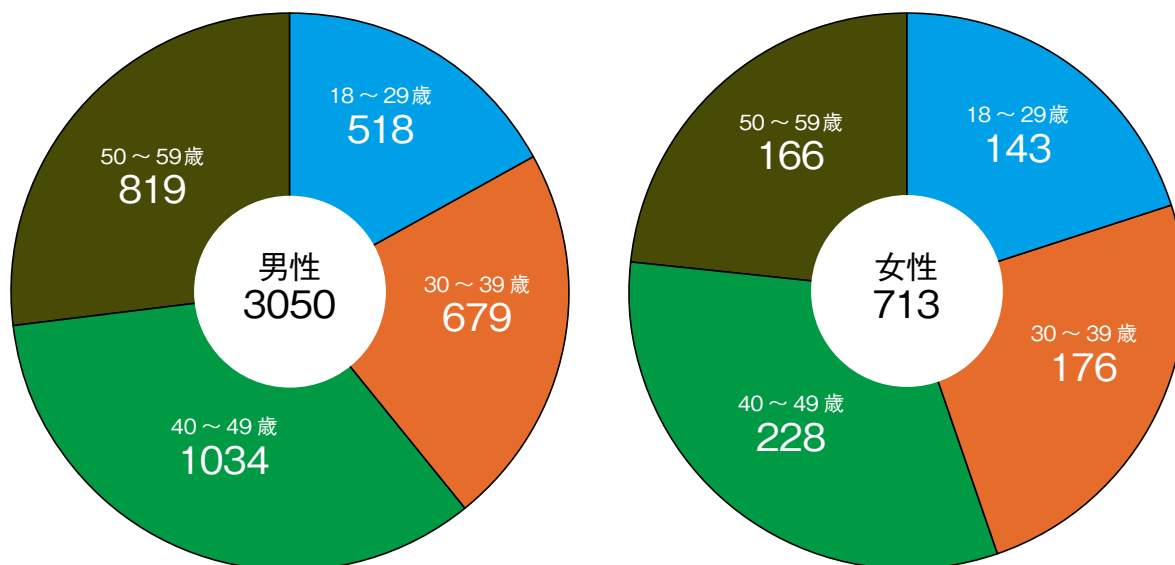
株式会社ジェイ・スポーツ  
<http://www.jsports.co.jp/>

## 年間動員数




2015年動員実績: 18万 8890人





## サーキット来場者プロフィール 直近1年で3回以上サーキットで観戦した人の割合



## TV放映

	シリーズ全7戦の決勝の様様を生中継。
	現役レーシングドライバーの小林可夢偉と中嶋大祐がパーソナリティーを務めるトーク番組! 旬のドライバーや監督をゲストに迎え、レースの魅力やプライベートを語りつくすスーパーアスリートトークショー! ナレーターを務める樋口日奈(乃木坂46)の美声にも注目!
	シリーズ全7戦の予選と決勝の様様をライブで中継。再放送やレースダイジェストも放送します。

## 映像配信

	大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
	スーパーフォーミュラ公式サイト及び公式FACEBOOKで配信。

## インターネット/SNS

スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト <a href="http://superformula.net/">http://superformula.net/</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラ」で 検索</a>
スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook <a href="https://www.facebook.com/superformula.official">https://www.facebook.com/superformula.official</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラfacebook」で 検索</a>
スーパーフォーミュラオフィシャルTwitter <a href="https://twitter.com/super_formula">https://twitter.com/super_formula</a>	<a href="#">「スーパーフォーミュラtwitter」で 検索</a>
スーパーフォーミュラ公式アプリ i OS,Android対応無料ライブタイピングアプリ	<a href="#">「SUPERFORMULA」で 検索</a>

## プロモーションサポーター

 <p><b>本山 哲</b> アンバサダー</p> <p>1998年、2001年、2003年、2005年と、4度のチャンピオンを獲得。また、最多ポールポジション獲得など、さまざまな記録を持つ、日本を代表するトップドライバー。2014～16年シーズンでは、JRP主催のトークショーに出演した他、場内実況解説やテレビ解説も担当。「アンバサダー」としてスーパーフォーミュラのプロモーションの中心で活躍する。</p>	 <p><b>ピエール 北川</b> オフィシャルコメンテーター</p> <p>レースの状況や場内の興奮、バトルの迫力を臨場感あふれる熱い語り口で伝えてくれる名レースアナウンサー。2014年からスーパーフォーミュラの全戦で場内実況アナウンサーを務め、JRP主催のトークショーなどの司会進行も担当。</p>
 <p><b>水村 リア</b> オフィシャルステージMC</p> <p>スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージで、毎戦様々なトークショーやイベントの司会進行を担当。得意の英語力を活かし外国人ドライバーとのトークもこなせば、テクノロジー・ラボラトリーからレースクイーンオンステージまで、硬軟すべての場面で持ち前のバイタリティーを発揮し会場を盛り上げる。</p>	 <p><b>両角 岳彦</b> TECHNOLOGY LABO.主筆</p> <p>公式ウェブ「TECHNOLOGY LABORATORY」主筆。「エンジニアたちの作戦計画」では、毎回エンジニアたちの見えない戦いを浮き彫りにします。「SF14」「タイヤ」「エンジン」「空力」など自動車評論家としての独自目線で深掘りし、スーパーフォーミュラという「競争」の真髄を解き明かします。</p>
 <p><b>松田 次生</b> 中継レポーター</p> <p>フォーミュラ・ニッポンから続く21年の歴史の中で唯一、07年08年と連続チャンピオンを獲得。SUPER GTレースでは現在もチャンピオン争いの先頭を走る現役最強ドライバー。そんな現役トップレーシングドライバーが今シーズン、生中継のビットリポートと「スーパーフォーミュラGO ON!」を担当します。現役ならではの、鋭くわかりやすい解説が好評です。</p>	 <p><b>東 美樹</b> 中継レポーター</p> <p>日本テレビ「ZIP!」やWOWOW「ぶらすと」、BS日テレ「旅して Happy」などテレビ出演に多くの経験を持ち、ロンドン留学の経験を活かして語学も堪能。ダイビング乗馬、ヨガ、ボルダリングなど多趣味でアクティブな東さんが、レポーターマイクを持ち、ビットを縦横無尽に取材します! BSフジのレース生中継、新装なった「スーパーフォーミュラGO ON!」に出演予定です!</p>

## ファンクラブ

<p>オフィシャルファンクラブ 「CLUB F」</p>	<p>ファンクラブに入会いただくと、前売観戦券や年間パスの会員特別価格での購入やオリジナルグッズのプレゼントなどの会員特典があります。</p>
----------------------------------	---

詳しくは公式サイト<http://www.superformula.jp>をご覧ください。

## 2017 SUPER FORMULA 車両規定抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な車両規則です。  
正確な内容は2017年JAF国内競技車両規則をご覧ください。

### シャシー

JAF が認めたスーパーフォーミュラ車両製造者から供給された車両で、現在はイタリアのダラーラ製 SF14 が 2014 年から使用されている。

メーカー	dallara 製 (イタリア)
全長	5,268mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
ホイールベース	3,165mm
最低重量	660kg (ドライバー込み)
車体	カーボンコンポジット製
ミッション	6速パドルシフト式
ブレーキ	カーボンディスクローター (ブレンボ製)

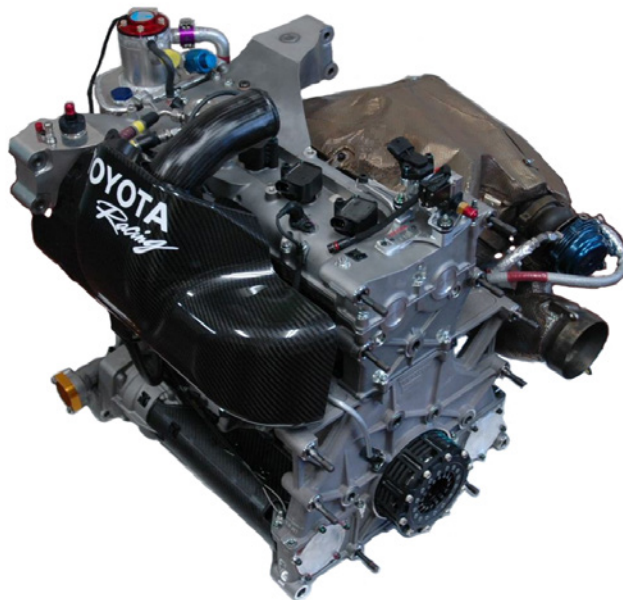


### エンジン

エンジンは直噴直列4気筒ターボ、排気量2000cc以下で、現在はHondaとトヨタが開発したNRE (ニッポン・レース・エンジン)が使用される。燃料供給の流量は燃料流量リストリクターによって制限される。



**Honda HR-417E**



**TOYOTA R14A**

### タイヤ

横浜ゴム製のワンメイク F: 250/620/R13 R: 360/620 × R13 (スリックタイヤ)

### オーバーテイクシステム

スーパーフォーミュラでは独自のシステムのひとつとして、決勝中にエンジンのパワーが増すオーバーテイクシステム (OTS) を採用している。これは、オーバーテイクボタンを押すと、20秒間だけ燃料流量が増えて (10kg/h) パワーアップする。システムは1回で20秒間作動し、1レースで使えるのは5回まで。オーバーテイク作動開始から5秒後にドライバーの後ろのロールフープについたランプが点滅する。ポイントリーダーはオーバーテイクランプが赤 (リーダーズレッド) で、それ以外のドライバーは白色となっている。





# 2017 SUPER FORMULA 競技規則抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な競技規則です。

正確な内容は2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則をご覧ください。

## ■車両／エンジン／タイヤの使用制限

### 車両

スペアカーは使用できない。

### エンジン

同じエンジンを4大会連続で使用しなければならない。

#### エンジンを交換した場合

車検開始前	予選結果から10グリッド降格
車検後～決勝日フリー走行終了後1時間まで	予選結果から10グリッド降格
決勝日フリー走行終了後1時間過ぎ～スタート手順開始まで	グリッド最後尾(当該車両の当初のグリッドは空けたまま)
上記3つの場合による2回以上のエンジン交換	決勝レースはピットスタート

#### 1大会2レース制の場合

第1レースのスタート手順開始まで	第1レース予選結果から10グリッド降格
第1レーススタート後～第2レーススタート手順開始まで	第2レース予選結果から10グリッド降格

### タイヤ

1大会で1台につき使用できるドライタイヤは6セット（ニュータイヤ4セット、持ち込みタイヤ2セット）、ウエットタイヤは4セット。タイヤウォーマーの使用は禁止される。

## ■予選方法

予選は全戦ノックアウト方式で行われる。予選をQ1、Q2、Q3の3つのセッションに分け、Q1の上位14台の車両がQ2に進める。そしてQ2の上位8台がQ3に進み、上位8台の最終的な順位を決定する。1大会2レース制の場合、第1レースのグリッドはQ1の結果に基づく。予選通過基準はQ1で記録された1位のタイムの107%以内とする。

## ■スタート

スタートはスタンディングスタートで、グリッドは1×1のスタaggerドフォーメーション。正式スタートの前に1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップに発進できなかった車両は最後尾カピットスタートとなる。ただし、発進が出遅れた車両で最後尾の車両がスタートラインを通過する前までに動き出せた場合は、フォーメーションラップ走行中に自ポジションまで戻ることができる。各車がグリッドに戻ったのちスタートシグナルのレッドライトが点灯し、その消灯がスタートとなる。



## ■ポイントシステム

各レースの成績に応じてドライバーとチームに得点が与えられ、年間の合計で最高得点者が全日本選手権保持者（チャンピオン）となる（チームの得点は同一チームの車両のうち上位2台が対象）。同点の場合の順位は高得点を得た回数が多い順に決定。それでも同じ場合は、最終戦の前の大会の得点で決定する。それでも同じ場合は、さらにその前の大会の得点と遡って決める。得点の基準は以下のとおり。

- ・予選 ポールポジション（ドライバーのみ）：1点
- ・決勝 各レースの1位から8位までに下記のとおり。また最終戦に限り、1位の者に通常得点とは別に3点が与えられる（ドライバーのみ）

#### 〔1レース制〕

1位：10点	5位：4点
2位：8点	6位：3点
3位：6点	7位：2点
4位：5点	8位：1点

#### 〔2レース制〕

1位：5点	5位：2点
2位：4点	6位：1.5点
3位：3点	7位：1点
4位：2.5点	8位：0.5点

#### レースが途中で中止になった場合の扱い

先頭車両が2周終了前	得点は与えられない
先頭車両が2周以上～レース距離の75%未満	通常得点の半分
先頭車両がレース距離の75%以上	通常得点





# 2017 SUPER FORMULA 参加チーム&ドライバー

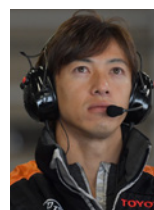


# P.MU/CERUMO・INGING

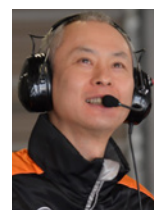


フォーミュラ・ニッポン以前の時代から全日本トップフォーミュラで戦ってきたセルモと、2006年参戦開始のインギングが共同体制を組んだのは08年。現在のチーム監督は“セルモのエース”として知られ、SUPER GTでは現役第一線を張り続けている立川祐路、そしてプリチストンやフェラーリF1で活躍してきたタイヤのスペシャリスト浜島裕英が総監督を務める。SF14時代の躍進めざましく、15年に石浦宏明がチャンピオンに輝くと、昨季は国本雄資が王座に就き、チームタイトルも手中に。連覇を狙う国本と奪冠を目指す石浦、今季もこの強力布陣で戦う。

チーム名	P.MU/CERUMO・INGING ピーエムユーセルモインギング
監督	立川 祐路
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	高尾 昭 takao@inging.jp 村田 淳一 murata@cerumo.co.jp
Website	<a href="http://www.inging.co.jp/">http://www.inging.co.jp/</a>
facebook	<a href="http://www.facebook.com/ingingmotorsport">http://www.facebook.com/ingingmotorsport</a>



チーム監督  
立川 祐路



1号車エンジニア  
菅沼 芳成



2号車エンジニア  
村田 卓児

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	羽根幸浩	14位	12位	—/0ポイント	
1997	光貞秀俊/S.カヴァナ/柴原眞介/M.クルム	3位(2回)	3位(3回)	5位/20ポイント	
1998	野田英樹/飯田 章	PP	3位	7位/11ポイント	
1999	立川祐路/飯田 章	4位	4位	10位/6ポイント	
2000	立川祐路/J.ヴェルチューク	3位(3回)	4位(3回)	7位/9ポイント	
2001	影山正美/荒 聖治	7位(2回)	3位	7位/16ポイント	
2002	B.トレレイエ/立川祐路	8位(2回)	6位	9位/1ポイント	
2003	松田次生/井出有治	3位	2位	5位/26ポイント	
2004	松田次生/影山正美	5位	4位(2回)	7位/7ポイント	
2005	平中克幸/高木虎之介	2位	6位(2回)	7位/2ポイント	
2006	立川祐路(CERUMO)	5位	4位(2回)	8位/10ポイント	
	R.クインタレリ/横溝直輝(INGING)	2位	4位	9位/6ポイント	
2007	立川祐路(CERUMO)	4位	5位	9位/7ポイント	
	立川祐路/佐々木孝太(RECKLESS CERUMO)	7位	6位	11位/4ポイント	
	R.クインタレリ/横溝直輝(INGING)	2位	優勝	5位/27ポイント	
2008	R.クインタレリ/立川祐路	5位	3位	4位/52.5ポイント	
2009	立川祐路	8位	5位	10位/1ポイント	
2010	井口卓人	13位	6位	8位/3ポイント	
2011	国本雄資	8位	4位	6位/6.5ポイント	
2012	平手晃平/国本雄資	4位	5位	6位/10ポイント	
2013	平手晃平/国本雄資	2位	2位	5位/21ポイント	
2014	石浦宏明/国本雄資	2位	2位(2回)	3位/45.5ポイント	
2015	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(2回)	2位/56ポイント	★
2016	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(3回)	1位/54ポイント	☆ ★

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 1 国本 雄資

Yuji Kunimoto

P.MU/CERUMO・INGING SF14  
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1990年9月12日
- 出身地 神奈川県
- 血液型 B型
- Website <http://mobile.twitter.com.yujikunimoto>

### Race Career

2004	全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ7位
2005	全日本カート選手権 ICAクラス東地域チャンピオン 全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ3位
2006	全日本カート選手権 FAクラス シリーズ8位
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位 フォーミュラトヨタ スポット参戦
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン マカオグランプリフォーミュラBMWクラス5位
2009	全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2010	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン 日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.33 Project μ/cerumo・INGING	10 (6.5)	—
2012	No.39 Project μ/cerumo・INGING	13 (2)	—
2013	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	10 (10)	—
2014	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	7 (19.5)	—
2015	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	9 (7.5)	—
2016	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1 (33)	2

## 2 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

P.MU/CERUMO・INGING SF14  
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1981年4月23日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://ameblo.jp/ishiura/>

### Race Career

2003	フォーミュラトヨタ シリーズ4位
2004	フォーミュラトヨタ シリーズ6位 フォーミュラトヨタ シリーズ3位
2005	GC-21シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ9位
2007	全日本F3選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
2008	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
2009	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
2010	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
2011	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス3位
2012	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ3位 ニュルブルクリンク24時間レース SP.PROクラス優勝
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.8 Team LeMans	16 (9)	—
2009	No.8 Team LeMans	6 (30)	—
2010	No.8 Team LeMans	8 (16)	—
2011	No.8 Team KYGNUS SUNOCO	6 (17)	—
2014	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	5 (26)	—
2015	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	1 (51.5)	2
2016	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	5 (27)	1

# KONDO RACING



モータースポーツと芸能活動、その両方に全力投球の近藤真彦が率いる陣営だ。チーム創設の2000年には、当時トップフォーミュラ現役だった近藤自身が自チームのマシンのステアリングを握って参戦。その後は監督に専念し、08年にはチーム初優勝を達成している。今季は新人2名というフレッシュなラインアップで戦う。両名とも全日本F3チャンピオンを獲得した逸材で、15年王者ニック・キャンディ、そして16年王者の山下健太が競い合いながら上位進出を狙う。SUPER GTでもヨコハマを履いているチームなので、タイヤとの親和性の面でも期待は高い。

チーム名	KONDO RACING コンドー レーシング
監督	近藤 真彦
会社名	株式会社エムケイカンパニー
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー-RoP1104 TEL:03-6459-1360 FAX:03-6459-1306
広報担当	河野 初樹 kohno@mk-company.jp
Website	<a href="http://www.matchy.co.jp/">http://www.matchy.co.jp/</a>
Facebook	<a href="https://ja-jp.facebook.com/KONDORacing">https://ja-jp.facebook.com/KONDORacing</a>



チーム監督  
近藤 真彦



3号車エンジニア  
田中 耕太郎



4号車エンジニア  
米林 慎一

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2000	近藤真彦／土屋武士(Rd.9)	14位	7位	—/0ポイント	
2001	立川祐路／金石勝智	4位	2位	5位/34ポイント	
2002	荒 聖治／金石勝智	6位	4位	7位/3ポイント	
2003	立川祐路／D.シュワガー	9位	7位	—/0ポイント	
2004	道上 龍／立川祐路	3位	3位	6位/10ポイント	
2005	山本左近／J.ヤニス(～Rd.3)／R.クインタレッリ(Rd.4～)	3位	2位	4位/21ポイント	
2006	山本左近(Rd.3～)／荒 聖治(Rd.4～)／柳田真孝	5位	4位	10位/4.5ポイント	
2007	柳田真孝／J.P.デ・オリベイラ	3位	3位	7位/18ポイント	
2008	横溝直輝／J.P.デ・オリベイラ	PP	優勝	5位/44ポイント	
2010	松田次生(Rd.4～)	8位	8位	9位/1ポイント	
2011	A.カルダレッリ	10位	9位	—/0ポイント	
2012	安田裕信	8位	9位	—/0ポイント	
2013	安田裕信	13位	6位	9位/3.5ポイント	
2014	J.ロシター	3位	2位	5位/22ポイント	
2015	J.ロシター／W.ブラー	3位	6位	8位/5ポイント	
2016	J.ロシター／W.ブラー	4位	5位(2回)	8位/12ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 3 ニック・キャシディ

Nick Cassidy

FUJI CORPORATION KONDO SF14  
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1994年8月19日
- 出身地 ニュージーランド
- 血液型 B型
- Website <http://easyinstagram.com/nickcassidy>

### Race Career

2008	New Zealand Formula First Winter Series シリーズチャンピオン
2009	New Zealand Formula First シリーズ2位 (新人賞獲得)
2010	New Zealand Formula Ford シリーズ2位 (新人賞獲得)
2011	Toyota Racing Series シリーズ2位 (新人賞獲得)
2012	Toyota Racing Series シリーズチャンピオン
2013	Toyota Racing Series シリーズチャンピオン
2014	Eurocup Formula Renault 2.0 & FIA ヨーロッパF3選手権 スポット参戦 F3マカオGP 3位
2015	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 12位
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 FIA ヨーロッパF3選手権 シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

## 4 山下健太

Kenta Yamashita

FUJI CORPORATION KONDO SF14  
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1995年8月3日
- 出身地 千葉県
- 血液型 AB型
- Website <http://kentayamashita.jp>

### Race Career

2007	モバロ 5StarCup (YAMAHA JUNIOR) シリーズチャンピオン
2008	Open Masters Kart (KRP JUNIOR) シリーズチャンピオン
2009	NTC CUPシリーズ (Jr.MAX) シリーズチャンピオン
2010	Open Masters Kart (ARTAチャレンジ) シリーズ2位
2011	全日本カート選手権 (S-KF) シリーズ4位 JAF 地方選手権スーパーFJもてぎシリーズ チャンピオン
2012	CIK/FIA World Karting Championship KF1クラス出場 FINAL1-5位 2013フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン JAF 地方選手権F4東日本シリーズ シリーズチャンピオン
2014	全日本F3選手権 シリーズ2位
2015	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ20位
2016	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

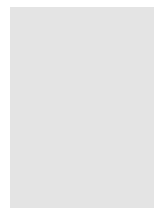
Year	Team	Rank (Pts)	Win

# SUNOCO TEAM LEMANS

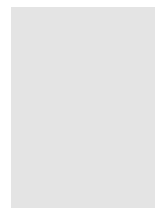


日本のレース界を長く牽引してきた老舗チーム。フォーミュラ・ニッポン誕生当初には1996年と98年にダブルタイトルを獲得するなど黄金時代を構築した。2000年代後半からは苦戦が続いていたが、エンジニアリング面のスタッフ強化策等により復調し、13年と14年には各1勝をマーク。15年は小林可夢偉の加入と活躍で注目を集めたが、昨季は予想外の不振に。再びの浮上を目指して、今シーズンは久々のレギュラー復帰となる大嶋和也、マカオF3で2勝の実績をもつ新人フェリックス・ローゼンクヴィストという新たなドライバーコンビで臨む。

チーム名	SUNOCO TEAM LEMANS スノコ チーム ルマン
監督	片岡 龍也
会社名	株式会社チームルマン
所在地	〒412-0046 静岡県御殿場市保土沢1157-340 TEL:0550-88-5888 / FAX:0550-88-5889
広報担当	狐塚 宣寿 kozuka@lemans.co.jp
Website	http://www.teamlemans.co.jp/



チーム監督  
片岡 龍也



7号車エンジニア  
中村 成人



8号車エンジニア  
大久保 健

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
1996	服部尚貴 / R.シューマッハー	PP(3回)	優勝(5回)	1位 / 78ポイント	☆	★
1997	N.フォンタナ / E.トゥエロ	2位	優勝	3位 / 23ポイント		
1998	N.フォンタナ / 本山 哲	PP(3回)	優勝(4回)	1位 / 66ポイント	☆	★
1999	本山 哲 / 山西康司	PP(3回)	優勝(3回)	2位 / 52ポイント		
2000	野田英樹 / 五十嵐勇大	PP	2位	5位 / 16ポイント		
2001	A.ユーン / 五十嵐勇大 / 山西康司	6位	5位	9位 / 2ポイント		
2002	影山正美 / 土屋武士 / D.シュワガー	PP(4回)	2位(3回)	5位 / 29ポイント		
2003	金石年弘 / 土屋武士	PP(2回)	優勝	2位 / 38ポイント		
2004	脇阪寿一 / 土屋武士 / 片岡龍也	PP	2位	4位 / 37ポイント		
2005	片岡龍也 / 土屋武士	2位	2位	5位 / 20ポイント		
2006	片岡龍也 / 高木虎之介	5位	3位(3回)	6位 / 13ポイント		
2007	片岡龍也 / 高木虎之介	9位	7位(2回)	8位 / 8ポイント		
2008	本山 哲 / 石浦宏明	PP(2回)	3位	7位 / 22ポイント		
2009	国本京佑 / 石浦宏明	2位	3位	5位 / 31ポイント		
2010	K.コッツォリノ / 石浦宏明	3位	3位	5位 / 24ポイント		
2011	大嶋和也 / 石浦宏明(大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	PP	2位	4位 / 32ポイント		
2012	大嶋和也 / L.デュバル(大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	2位	3位	5位 / 21.5ポイント		
2013	平川 亮 / L.デュバル(Rd.1,7はA.カルダレリ)	PP(2回)	優勝	2位 / 42ポイント		
2014	平川 亮 / L.デュバル(Rd.3はA.カルダレリ)	PP	優勝	2位 / 46ポイント		
2015	平川 亮 / 小林可夢偉	2位	2位	4位 / 33ポイント		
2016	N.カーティケヤン / 小林可夢偉	6位	3位	10位 / 16ポイント		

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル





# REAL RACING

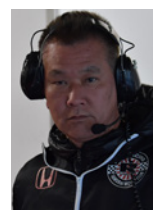


チームを率いるのは、フォーミュラ・ニッポンでも優勝経験があり、日本のトップカテゴリーで長く活躍した名選手・金石勝智。チーム母体としてのこのカテゴリーへの参戦開始は2009年で、翌10年には早々に塚越広大が2位を獲得する殊勲を演じた。13年に塚越がチーム復帰し、そこから通年2台体制で戦っていたが、今季は塚越の1台にチームリソースを集中し、悲願ともいえるチーム初優勝の実現に向かって新たな決意で突き進む構えだ。塚越としても、チャンピオン争いを演じた12年のダンディライアン所属時代以来となる2勝目が早く欲しい。

チーム名	REAL RACING リアルレーシング
監督	金石勝智
会社名	株式会社リアル
所在地	東京都港区赤坂3-21-15 東都赤坂ビル3F TEL:03-5114-6045 FAX:03-6227-7011
広報担当	南元 由紀 minamimoto@real-racing.jp
Website	http://www.real-racing.jp/



チーム監督  
金石勝智



10号車エンジニア  
田坂 泰啓

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2009	塚越広大	3位(4回)	4位(2回)	7位/20ポイント	
2010	塚越広大	5位	2位	6位/9ポイント	
2011	小林崇志 / 武藤英紀 (Rd.4,7)	9位	9位	—/0ポイント	
2012	金石年弘 / 中山友貴 (Rd.4,5)	11位	7位	9位/2ポイント	
2013	塚越広大 / 中山友貴	7位	6位	8位/4ポイント	
2014	塚越広大 / V.リウツィ	4位	4位	8位/10ポイント	
2015	塚越広大 / 伊沢拓也	5位	7位	9位/4.5ポイント	
2016	塚越広大 / 伊沢拓也	3位	2位	7位/14.5ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 10 塚越 広大 Koudai Tsukakoshi

REAL SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1986年11月20日
- 出身地 栃木県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.tsukakoshikoudai.net/>

### Race Career

2003	全日本カート選手権FSAクラスシリーズチャンピオン フォーミュラ・ドリーム(4戦3勝 年間最多勝) シリーズ5位
2004	F4西日本シリーズ チャンピオン 鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業 フォーミュラ・ドリーム(全戦優勝) シリーズチャンピオン
2005	全日本F3選手権参戦
2006	全日本F3選手権 シリーズ5位
2007	全日本F3選手権 シリーズ5位 F3マカオGP 2位
2008	F3ユーロシリーズ 7位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.10 HFDP RACING	7 (20)	—
2010	No.10 HFDP RACING	9 (9)	—
2011	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	4 (26.5)	—
2012	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	2 (43)	1
2013	No.10 HP REAL RACING	15 (3)	—
2014	No.10 HP REAL RACING	11 (8.5)	—
2015	No.10 REAL RACING	— (0)	—
2016	No.10 REAL RACING	11 (11)	—

# TEAM MUGEN



F1にもエンジンを供給、優勝した実績もある無限。「チーム無限」としてのトップフォーミュラ参戦は2010年からで、翌11年にはその後チームの絶対的エースとなっていく山本尚貴（当時トップフォーミュラ2年目）が加入する。山本とチームは二人三脚で戦力アップし、13年、見事ドライバーズチャンピオンを獲得した。そして3年ぶりに2カー参戦となる今季、山本の僚友はレッドブルの次期F1候補生で昨年GP2（現FIA-F2）王者という注目株ピエール・ガスリーだ。実力と人気を兼ね備えた者同士の新コンビで、シリーズを引っ張る活躍が期待される。

チーム名	TEAM MUGEN チーム・ムゲン
監督	手塚 長孝
会社名	株式会社M-TEC
所在地	〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11 TEL:048-462-3131 FAX:048-462-3121
広報担当	川瀬 卓哉 takuya_kawase@mugen-power.com
Website	<a href="http://www.mugen-power.com/">http://www.mugen-power.com/</a>
facebook	<a href="https://ja-jp.facebook.com/pages/無限MUGEN株式会社M-TEC/110723739015588">https://ja-jp.facebook.com/pages/無限MUGEN株式会社M-TEC/110723739015588</a>



監督  
手塚 長孝



15号車エンジニア  
星 学文



16号車エンジニア  
阿部 和也

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	井出有治	8位	8位(2回)	10位/1ポイント	
2011	山本尚貴	PP	5位	7位/4ポイント	
2012	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.6,7)	4位	7位	8位/4ポイント	
2013	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.1,6,7)/小林崇志(Rd.2-4)	PP(2回)	優勝	4位/32.5ポイント	★
2014	山本尚貴/中山友貴	PP(2回)	5位	7位/12.5ポイント	
2015	山本尚貴	PP(2回)	優勝	6位/21ポイント	
2016	山本尚貴	PP	優勝	6位/14.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 15 ピエール・ガスリー

Pierre Gasly

TEAM MUGEN SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1996年2月7日
- 出身地 フランス
- 血液型
- Website <https://www.pierregasly.com/fr.html>

### Race Career

2011	フランスF4選手権3位
2012	ユーロカップ・フォーミュラ・ルノー2.0 10位
2013	ユーロカップ・フォーミュラ・ルノー2.0 チャンピオン
2014	フォーミュラ・ルノー3.5 シリーズ2位
2015	GP2 (ART Grand Prix) シリーズ8位
2016	GP2 (ART Grand Prix) シリーズチャンピオン

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

## 16 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

TEAM MUGEN SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1988年7月11日
- 出身地 栃木県
- 血液型 B型
- Website <http://www.naoki-yamamoto.com/>

### Race Career

2002	全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003	ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI) 加入 全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ29位 CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ5位 CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ホルタル大会12位
2006	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
2008	全日本F3選手権 シリーズ5位
2009	全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
2010	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位 プロ・スポーツ大賞新人賞獲得
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2010	No.31 NAKAJIMA RACING	7 (20.5)	—
2011	No.16 TEAM 無限	11 (5)	—
2012	No.16 TEAM 無限	11 (4)	—
2013	No.16 TEAM 無限	1 (37)	1
2014	No.1 TEAM 無限	9 (14.5)	—
2015	No.16 TEAM 無限	5 (26)	1
2016	No.16 TEAM 無限	7 (15.5)	1

# KCMG



KCMGは全日本トップフォーミュラのみならず多角的にモータースポーツに取り組んできた陣営だ。フォーミュラ・ニッポン～スーパーフォーミュラへの参戦は2010年から。1カー参戦ながら、手強い先輩チームたちに果敢に挑む姿勢で戦い続けており、シーズンを経るたびに着実に力を増してきている。そこへ今季は、世界的なトップドライバーである小林可夢偉が加入。このビッグニュースによって、シリーズの台風の目、あるいはそれ以上の活躍さえも期待できる状況が整ったといえよう。まずはチームと可夢偉自身の初優勝に照準ロックオンだ。

チーム名	KCMG ケーシーエムジー
監督	土居 隆二
会社名	株式会社ディーティーエム
所在地	〒410-1116 静岡県裾野市千福72-1 TEL:055-992-7000 FAX:055-922-7001
広報担当	石塚 麻依 Ishizuka@kcmg.com.hk
Website	<a href="http://www.kcmg.com.hk/">http://www.kcmg.com.hk/</a>
facebook	<a href="https://www.facebook.com/KCMGItD">https://www.facebook.com/KCMGItD</a>



チーム監督  
土居 隆二



エンジニア  
笠井 昭則

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	平中克幸	8位	7位 (2回)	12位 / 4ポイント	
2011	A.インベラトーリ	12位	7位	9位 / 2.5ポイント	
2012	折目 遼	16位	15位	— / 0ポイント	
2013	R.ブラッドレー	18位	13位	— / 0ポイント	
2014	中山雄一	11位	10位	— / 0ポイント	
2015	中山雄一	4位	6位	11位 / 1.5ポイント	
2016	中山雄一	7位	9位	— / 0ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 18 小林 可夢偉

Kamui Kobayashi

KCMG Elyse SF14  
TOYOTA R14A



- 生年月日 1986年9月13日
- 出身地 兵庫県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.kamui-kobayashi.com/>

### Race Career

2001	フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 スカラシップ生に選出
2002	フォーミュラトヨタ参戦
2003	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2004	フォーミュラノイタリア選手権 シリーズ7位(2勝)
2005	フォーミュラノイタリア選手権 シリーズチャンピオン(6勝) フォーミュラノユーロ選手権 シリーズチャンピオン(5勝)
2006	F3ユーロシリーズ 8位 F3マカオGP-予選レース優勝・ポールポジション獲得
2007	F3ユーロシリーズ 4位(1勝) GP2アジアシリーズ6位(2勝:日本人初優勝) GP2シリーズ16位(1勝:日本人初優勝)
2008	F1世界選手権(バナソニック・トヨタ・レーシング)サードドライバー F1世界選手権(バナソニック・トヨタ・レーシング) シリーズ18位
2009	GP2アジア シリーズチャンピオン(2勝) GP2 シリーズ16位(3位 表彰台1回)
2010	F1世界選手権(BMWザウバーF1チーム) シリーズ12位
2011	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2012	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2013	FIA世界耐久選手権(LMGTE) シリーズ7位
2014	F1世界選手権(ケータハムF1チーム) シリーズ22位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ3位(優勝1回)

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank(Pts)	Win
2015	No.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	6(20)	—
2016	No.8 SUNOCO Team LeMans	17(1)	—

# ITOCHU ENEX TEAM IMPUL



元祖日本一速い男にして“闘将”の異名も有する星野一義が率いるチーム。2001～10年には、10シーズンでドライバーとチームの両タイトルを計7度ずつ獲得という圧倒的な強さを誇り、4冠王・本山哲が3度の戴冠を果たしてもいる。近年は王座から遠ざかっているが、昨季は関口雄飛がルーキーながら2勝し、チャンピオン争いの主役のひとりとなる大活躍。今季はチーム伝来のエースナンバー「19番」を纏って王座再挑戦だ。その僚友はゲームからリアルの世界に進出してここまで上がってきた新人ヤン・マーデンボロー。星野監督が惚れ込んだ気鋭2人で戦う。

チーム名	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL イトウチュウエネクス チーム インバル
監督	星野 一義
会社名	有限会社ホシノレーシング
所在地	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-32-3 TEL:03-3439-1122(代) FAX:03-3439-5522
広報担当	斉藤 暁一 saito@impul.co.jp 高橋 紳一郎 takahashi@teamimpul.com
Website	<a href="http://www.impul.co.jp/">http://www.impul.co.jp/</a>
Facebook	<a href="https://ja-jp.facebook.com/TEAM.IMPUL">https://ja-jp.facebook.com/TEAM.IMPUL</a>



チーム監督  
星野 一義



19号車エンジニア  
柏木 良仁



20号車エンジニア  
岡田 淳

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	鈴木利男/星野一義	PP(2回)	優勝	2位/38ポイント	
1997	黒澤琢弥/影山正彦	PP	優勝	2位/44ポイント	
1998	黒澤琢弥/影山正彦	PP	優勝(2回)	4位/27ポイント	
1999	影山正美/野田英樹	2位	優勝	3位/24ポイント	
2000	本山 哲	PP	優勝	3位/34ポイント	
2001	本山 哲/N.カーティケヤン	PP(3回)	優勝(4回)	2位/51ポイント	★
2002	本山 哲/M.クルム	PP	優勝(5回)	2位/60ポイント	
2003	本山 哲/B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(6回)	1位/91ポイント	☆ ★
2004	B.トレレイエ/井出有治	PP(2回)	優勝(3回)	1位/62ポイント	☆
2005	B.トレレイエ/井出有治/本山 哲	PP(5回)	優勝(6回)	1位/101ポイント	☆ ★
2006	B.トレレイエ/松田次生	PP(4回)	優勝(5回)	1位/88ポイント	☆ ★
	本山 哲/星野一樹	2位(4回)	3位(4回)	4位/16ポイント	
2007	B.トレレイエ/松田次生	PP(4回)	優勝	1位/91ポイント	☆ ★
	本山 哲/M.クルム	PP	優勝(3回)	3位/50ポイント	
2008	松田次生/B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(4回)	1位/114.5ポイント	☆ ★
	平手晃平(Rd.7はR.ライアン)	4位(2回)	優勝	6位/42ポイント	
2009	松田次生/B.トレレイエ	PP	優勝	3位/50ポイント	
	平手晃平	PP	3位	4位/31ポイント	
2010	J.P.デ・オリベイラ/平手晃平	PP(2回)	優勝(3回)	1位/68ポイント	☆ ★
2011	J.P.デ・オリベイラ/平手晃平	PP(2回)	優勝	2位/41ポイント	
2012	J.P.デ・オリベイラ/松田次生	PP(3回)	優勝	3位/51.5ポイント	
2013	J.P.デ・オリベイラ/松田次生	2位(2回)	2位	3位/37.5ポイント	
2014	J.P.デ・オリベイラ/N.カーティケヤン	PP(2回)	優勝(3回)	4位/39.5ポイント	
2015	J.P.デ・オリベイラ/A.カルダレッリ	PP	優勝	3位/37ポイント	
2016	J.P.デ・オリベイラ/関口雄飛	PP(2回)	優勝(3回)	3位/42ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 19 関口 雄飛

Yuhi Sekiguchi

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14  
TOYOTA R14A



- 生年月日 1987年12月19日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://yuhi-muteki.net/>

### Race Career

2002	全日本カート選手権・ICAクラス シリーズチャンピオン
2004	フォーミュラ・トヨタ シリーズ3位
2005	フォーミュラ・トヨタ シリーズ5位
2006	フォーミュラ・トヨタ シリーズチャンピオン FCJ シリーズチャンピオン
2007	全日本F3選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2008	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ37位
2009	全日本F3選手権(Nクラス) シリーズ5位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ22位
2010	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ9位
2011	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ13位
2012	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位 インタープロトシリーズ シリーズ2位
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2016	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	3(28.5)	2

## 20 ヤン・マーデンボロー

Jann Mardenborough

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14  
TOYOTA R14A



- 生年月日 1991年9月9日
- 出身地 イギリス
- 血液型 A型
- Twitter <https://twitter.com/jannthaman>

### Race Career

2011	日産プレステーションGTアカデミー:ヨーロッパチャンピオン ドライブ24時間レース:総合3位 イギリスGT選手権参戦
2012	ブランバシ 耐久シリーズ参戦 スバ24時間レース:クラス3位 (Pro-Amクラス) ル・マン24時間レース:クラス3位 (LMP2クラス)
2013	FIA ヨーロッパF3選手権 シリーズ21位 イギリスF3選手権参戦
2014	TRSシングルシーターシリーズ(ニュージーランド)参戦 セプリング12時間:ピケット日産のLMP2で参戦 ル・マン24時間レース:オークレーシングから参戦 インフィニティ・レッドブル・レーシングドライバー育成プログラム参加 GP3参戦
2015	GP3参戦 ニッサンLMP1ル・マン24時間参戦
2016	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----



# VANTELIN TEAM TOM'S



日本レース界を代表する強豪レーシングチーム。ただ、トップフォーミュラへの継続的フル参戦開始は比較的最近で、2006年のことだった。初年度から初優勝するなど、すぐに上位常連となり、11年には初のダブルタイトルに輝く。そこから15年までの5シーズンでドライバータイトル3回、チームタイトル4回を獲得し、一大王朝期を展開。昨季は6年ぶりの無冠、初の0勝に終わっただけに、今季は逆襲に闘志を燃やしている。ドライバーは世界最高レベルの超強力タッグ、アンドレ・ロッター（11年王者）と中嶋一貴（12、14年王者）で不動だ。

チーム名	VANTELIN TEAM TOM'S バンテリン チーム トムス
監督	館 信秀
会社名	株式会社トムス
所在地	〒412-0017 静岡県御殿場市塚原149-6 テクニカルセンター(第1工場) TEL:0550-89-8347 FAX:0550-89-8349
広報担当	渡邊 一郎 i.watanabe@tomsracing.jp
Website	http://www.tomsracing.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp



チーム監督  
館 信秀



36号車エンジニア  
東 條 力



37号車エンジニア  
小 枝 正 樹

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル	
2006	A.ロッター／土屋 武士	5位(2回)	優勝(2回)	2位/32ポイント		
2007	A.ロッター／荒 聖治	4位(2回)	優勝	4位/48ポイント		
2008	A.ロッター／荒 聖治	3位	優勝	3位/58ポイント		
2009	A.ロッター／大嶋和也	2位	優勝	2位/52ポイント		
2010	A.ロッター／大嶋和也	PP	優勝(2回)	2位/67ポイント		
2011	A.ロッター-(Rd.2は井口卓人)／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(6回)	1位/96ポイント	☆	★
2012	A.ロッター／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(4回)	2位/76.5ポイント		★
2013	中嶋一貴／A.ロッター-(Rd.1,7はJ.ロスター)	PP(2回)	優勝(4回)	1位/58.5ポイント	☆	
2014	A.ロッター-(Rd.4はA.カルダレリ)／中嶋一貴	PP(4回)	優勝(4回)	1位/79.5ポイント	☆	★
2015	中嶋一貴-(Rd.2は大嶋和也)／A.ロッター	PP(2回)	優勝(4回)	1位/80.5ポイント	☆	
2016	A.ロッター／中嶋一貴	PP	2位(5回)	2位/51ポイント		

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 36 アンドレ・ロッテラー

Andre Lotterer

VANTELIN KOWA TOM'S SF14  
TOYOTA R14A



- 生年月日 1981年11月19日
- 出身地 ドイツ
- 血液型 B型
- Twitter [https://twitter.com/andre\\_lotterer](https://twitter.com/andre_lotterer)

### Race Career

2003	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位
2004	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 全日本GT選手権参戦 シリーズ8位
2005	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2006	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2007	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2008	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン
2011	ル・マン24時間レース 総合優勝 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位
2012	ル・マン24時間レース 総合優勝 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズチャンピオン
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ3位 ル・マン24時間レース 総合優勝 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ2位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ3位 FIA世界耐久選手権 シリーズ2位 スバ24時間レース 5位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ2位 FIA世界耐久選手権 シリーズ5位 ル・マン24時間耐久レース 4位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2003	No.2 PIAA NAKAJIMA RACING	4(22)	—
2004	No.31 PIAA NAKAJIMA RACING	2(33)	2
2005	No.31 PIAA NAKAJIMA RACING	4(20)	2
2006	No.36 DHG TOM'S RACING	3(30)	2
2007	No.36 DHG TOM'S RACING	5(37)	1
2008	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	3(49)	—
2009	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	3(39)	1
2010	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	2(43)	1
2011	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	1(56)	5
2012	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(35.5)	2
2013	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	2(37)	2
2014	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	3(34.5)	2
2015	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	3(40)	3
2016	No.36 VANTELIN TEAM TOM'S	2(30)	—

## 37 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

VANTELIN KOWA TOM'S SF14  
TOYOTA R14A



- 生年月日 1985年1月11日
- 出身地 愛知県
- 血液型 A型
- Website <http://www.kazuki-nakajima.com/>

### Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラス シリーズ7位
2002	全日本カート選手権FAクラス シリーズ3位
2003	フォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン(3勝)
2004	全日本F3選手権 シリーズ5位(2勝) 全日本F3選手権 シリーズ2位
2005	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2006	ユーロF3シリーズ 7位(1勝) GP2シリーズ(フランスDAMS) シリーズ5位
2007	AT&Tウィリアムズテストドライバー / F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ15位
2009	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ20位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ12位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ8位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位 FIA世界耐久選手権 シリーズ7位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ8位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	2(42)	1
2012	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2013	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(24)	2
2014	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2015	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	2(45.5)	1
2016	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	6(22)	—

# DOCOMO TEAM DANDELION RACING



1999年にトップフォーミュラ参戦を開始したダンディライアンは、2004年にドライバータイトル、12年にはチームタイトルを獲得するなどしており、近年はホンダ勢のリーディングチーム的ポジションにある。昨季はストフェル・バンドーンという注目の大器が在籍、重圧もかかるなかで彼は新人ながら2勝という見事な成績を収め、F1レギュラー（マクラーレン・ホンダ）へと巣立っていった。今季は4年目の野尻智紀と、4年ぶりのチーム復帰となる伊沢拓也、ともにこのチームでの優勝経験を有する和製コンビで、タイトル争い参入に向けて虎視眈々。

チーム名	DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドコモチームダンディライアンレーシング
監督	村岡 潔
会社名	有限会社ダンディライアン
所在地	〒662-0076 兵庫県西宮市松生町18-24-101 TEL:0798-70-0048 FAX:0798-70-0049
広報担当	浜田 哲彌 t_hamada@dandelion-racingo.com
Website	http://www.dandelion-racing.com/



チーム監督  
村岡 潔



40号車エンジニア  
杉崎 公俊



41号車エンジニア  
吉田 則光

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1999	R.デルフレー	17位(2回)	9位	—/0ポイント	
2000	道上 龍	2位	7位	—/0ポイント	
2001	野田英樹/J.ヴィエルチューク/光貞秀俊	3位	11位	—/0ポイント	
2002	J.コシェ/R.ライアン	6位	2位	6位/6ポイント	
2003	R.ライアン/服部尚貴	3位(2回)	優勝	6位/23ポイント	
2004	R.ライアン/服部尚貴	PP(6回)	優勝(2回)	3位/40ポイント	★
2005	R.ライアン/服部尚貴	PP(2回)	優勝	2位/37ポイント	
2006	B.ビルドハイム/平中克幸/井出有治	4位	2位	5位/13.5ポイント	
2007	B.ビルドハイム/F.カルボーン	6位	2位	6位/20ポイント	
2008	松浦孝亮/土屋武士	3位	優勝	11位/7.5ポイント	
2009	R.ライアン/伊沢拓也	2位(2回)	2位	6位/25ポイント	
2010	L.デュバル/伊沢拓也	PP(2回)	優勝(2回)	4位/40.5ポイント	
2011	伊沢拓也/塚越広大	PP	3位(2回)	3位/36.5ポイント	
2012	伊沢拓也/塚越広大	PP(3回)	優勝(3回)	1位/78.5ポイント	☆
2013	伊沢拓也/武藤英紀	PP	優勝	7位/14ポイント	
2014	野尻智紀/武藤英紀	2位(2回)	優勝	6位/14ポイント	
2015	野尻智紀/N.カーティケヤン	2位(3回)	3位(3回)	5位/25ポイント	
2016	野尻智紀/S.バンドーン	PP(2回)	優勝(2回)	4位/136.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 40 野尻 智紀

Tomoki Nojiri

DOCOMO DANDELION M40S SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1989年9月15日
- 出身地 茨城県
- 血液型 B型
- Twitter [https://twitter.com/tomoki\\_nojiri](https://twitter.com/tomoki_nojiri)

### Race Career

2008	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)首席卒業
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位 F4西日本シリーズ5位
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ2位
2012	全日本F3選手権 シリーズ5位
2013	全日本F3選手権 シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10(10)	1
2015	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(19)	-
2016	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(14.5)	-

## 41 伊沢 拓也

Takuya Izawa

DOCOMO DANDELION M41Y SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1984年6月1日
- 出身地 東京都
- 血液型 B型
- Website <http://www.takuya-izawa.com/>

### Race Career

2002	鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)首席卒業
2003	フォーミュラロードドイツシリーズ7位 フォーミュラドリムシリーズ3位
2004	フォーミュラロードドイツ選手権スポット参戦9位 フォーミュラドリムシリーズ4位
2005	全日本F3選手権 シリーズ6位 スーパー耐久十勝24時間レースST-4クラス優勝 全日本F3選手権 シリーズ6位
2007	F3マカオGP 16位 スーパー耐久十勝24時間レースST-4クラス優勝
2008	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位 GP2 シリーズ18位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦(Rd.6~) SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.8) シリーズ18位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ16位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.56 AUTOBACS RACING TEAM AGURI	10(19)	-
2009	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	8(14)	-
2010	No.2 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	11(7)	-
2011	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(11)	-
2012	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	3(41.5)	2
2013	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(15)	1
2014	No.34 DRAGO CORSE	-(0)	-
2015	No.11 REAL RACING	13(4.5)	-
2016	No.10 REAL RACING	16(3.5)	-

# B-Max Racing team



全日本F3選手権やSUPER GT/GT300クラスの強豪チームで、F3ドライバーの“DRAGON”こと組田龍司が率いるB-Max Racing teamが、今季からスーパーフォーミュラにも参戦を開始。昨年は全日本F3でチームチャンピオンを獲得するなどしており、まさに満を持してのトップカテゴリー進出といえるだろう。エンジンはホンダで、1カーエントリー、ドライバーは韋駄天の異名をとるベテラン小暮卓史に決まった。王座獲得経験こそないが、日本のトップフォーミュラで鮮烈な活躍を演じてきた小暮。新チームとの化学反応で見る新たな煌きに注目が集まる。

チーム名	B-MAX Racing team ビーマックス レーシング チーム
監督	組田 龍司
会社名	
所在地	神奈川県綾瀬市深谷8-8-2 TEL:0467-39-5960
広報担当	
Website	<a href="http://www.b-maxracingteam.com">http://www.b-maxracingteam.com</a>
facebook	



チーム監督  
組田 龍司



エンジニア  
宮田 雅史

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

## 50 小暮 卓史

Takashi Kogure

B-Max Racing team SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1980年8月1日
- 出身地 群馬県
- 血液型 B型
- Website <http://www.takashi-kogure.com/>

### Race Career

2002	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2003	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位
2004	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位
2005	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2006	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2007	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2008	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ参戦 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2003	No.1 PIAA NAKAJIMA RACING	10(11)	—
2004	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	7(17)	1
2005	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	5(15)	—
2006	No.56 AUTOBACS RACING TEAM AGURI	12(3)	—
2007	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	3(41)	3
2008	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	5(41)	—
2009	No.32 NAKAJIMA RACING	4(37)	2
2010	No.32 NAKAJIMA RACING	4(38)	1
2011	No.32 NAKAJIMA RACING	7(16.5)	—
2012	No.32 NAKAJIMA RACING	10(4)	—
2013	No.32 NAKAJIMA RACING	8(15)	—
2014	No.32 NAKAJIMA RACING	—(0)	—
2015	No.34 DRAGO CORSE	15(2.5)	—
2016	No.34 DRAGO CORSE	13(8)	—

# TCS NAKAJIMA RACING



日本人初のF1フルタイムドライバーとして広く知られる英雄・中嶋悟が率いるチームで、フォーミュラ・ニッポン時代には4度のダブルタイトル獲得歴を誇る名門。高木虎之介、小暮卓史といったスターを世に輩出してきた歴史も有する。2010年開幕戦を最後に優勝がないが、エンジニアリングスタッフの一層の強化策を施すなどして、最近では中嶋大祐（悟監督の次男で一貴の弟）が自身初優勝近し、と感じさせる活躍を見せている。そして今季の大祐の僚友は、移籍してきた元F1戦士ナレイン・カーティケヤン。新たなコンビで名門復活へ向け加速するか。

チーム名	TCS NAKAJIMA RACING ティーシーエス・ナカジマレーシング
監督	中嶋 悟
会社名	有限会社中嶋企画
所在地	東京都渋谷区渋谷3-5-1 渋谷グランドハイツ1104号 TEL:03-3486-4258 FAX:03-3486-4259
広報担当	山田 美紀 yamada@nakajimaraicing.co.jp
Website	http://www.nakajimaraicing.co.jp/
facebook	http://ja-jp.facebook.com/nakajimaraicing



チーム監督  
中嶋 悟



64号車エンジニア  
マシュー・ハーヴィー



65号車エンジニア  
大駒 俊臣

## Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	高木虎之介 / 黒澤琢弥	PP (4回)	優勝 (2回)	3位 / 35ポイント	
1997	高木虎之介 / 山西康司	PP (3回)	優勝	4位 / 20ポイント	
1998	山西康司 / T.コロネル	2位	4位	8位 / 10ポイント	
1999	T.コロネル / 光貞秀俊	PP (5回)	優勝 (5回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2000	高木虎之介 / 松田次生	PP (6回)	優勝 (9回)	1位 / 113ポイント	☆ ★
2001	松田次生 / R.ファーマン	PP (2回)	優勝 (2回)	4位 / 37ポイント	
2002	R.ファーマン / 松田次生	PP (2回)	優勝 (4回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2003	小暮卓史 / A.ロッテラー	PP	2位 (3回)	3位 / 33ポイント	
2004	A.ロッテラー / 小暮卓史	2位	優勝 (3回)	2位 / 50ポイント	
2005	A.ロッテラー / 小暮卓史	PP	優勝 (2回)	3位 / 35ポイント	
2006	L.デュバル / 武藤英紀	4位	優勝 (2回)	3位 / 26ポイント	
2007	L.デュバル / 小暮卓史	PP (4回)	優勝 (3回)	2位 / 72ポイント	
2008	L.デュバル / 小暮卓史	2位 (2回)	優勝 (2回)	2位 / 103ポイント	
2009	L.デュバル / 小暮卓史	PP (5回)	優勝 (6回)	1位 / 93ポイント	☆ ★
2010	山本尚貴 / 小暮卓史	PP (2回)	優勝 (1回)	3位 / 56.5ポイント	
2011	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位	2位	5位 / 18.5ポイント	
2012	中嶋大祐 / 小暮卓史	5位	4位	7位 / 4ポイント	
2013	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位 (2回)	2位 (2回)	5位 / 21ポイント	
2014	中嶋大祐 / 小暮卓史	10位	5位	9位 / 4ポイント	
2015	中嶋大祐 / B.バゲット	3位	5位	7位 / 7ポイント	
2016	中嶋大祐 / B.バゲット	4位 (2回)	2位	5位 / 15ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

## 64 中嶋 大祐

Daisuke Nakajima

TCS NAKAJIMA RACING SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1989年1月29日
- 出身地 愛知県
- 血液型 A型
- Website <http://www.daisuke-nakajima.com/>

### Race Career

2006	鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)入校 成績優秀者としてスカラシップを獲得
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパンシリーズ5位
2008	全日本F3選手権 シリーズ9位
2009	英国F3選手権 シリーズ7位
2010	英国F3選手権 シリーズ11位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ15位 (Rd.4~)
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ17位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ18位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.31 NAKAJIMA RACING	13(2)	—
2012	No.31 NAKAJIMA RACING	—(0)	—
2013	No.31 NAKAJIMA RACING	12(6)	—
2014	No.31 NAKAJIMA RACING	15(4)	—
2015	No.64 NAKAJIMA RACING	10(7)	—
2016	No.64 NAKAJIMA RACING	12(10.5)	—

## 65 ナレイン・カーティケヤン

Narain Karthikeyan

TCS NAKAJIMA RACING SF14  
Honda HR-417E



- 生年月日 1977年1月14日
- 出身地 インド
- 血液型 A型
- Website <https://twitter.com/narainracing/>

### Race Career

1998	イギリスF3選手権 シリーズ12位
1999	イギリスF3選手権 シリーズ6位
2000	イギリスF3選手権 シリーズ4位
2001	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ14位
2002	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ9位
2003	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ4位
2004	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ6位
2005	F1世界選手権(Jordan Grand Prix) シリーズ18位
2006	A1GP (チーム インド) シリーズ19位
2007	A1GP (チーム インド) シリーズ10位
2008	A1GP (チーム インド) シリーズ12位
2010	スーパーリーグ フォーミュラ (PSV Eindhoven) シリーズ16位
2011	F1世界選手権(HRT F1 Team) シリーズ26位
2012	F1世界選手権(HRT F1 Team) シリーズ24位
2013	AUTO GP シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ13位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ14位

### SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2001	No.20 excite TEAM IMPUL	14(2)	—
2014	No.20 Lenovo TEAM IMPUL	13(5)	—
2015	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	11(6)	—
2016	No.7 SUNOCO Team LeMans	14(5)	—



## 鈴鹿サーキット

### SUZUKA CIRCUIT

第1戦 4月22日(土)・23(日) / 第7戦 10月21日(土)・22日(日)

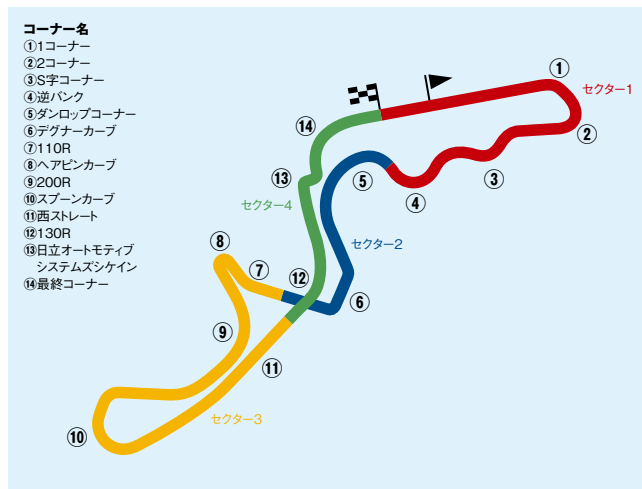
1962年、日本初の本格的サーキットとして誕生。世界的にも珍しい立体交差のある8の字型のレイアウトで低速から高速コーナーまでバランスよく配置されている。1987年にF1日本グランプリを開催してから海外でも広く知られるようになり、リズムカルでチャレンジングなレイアウトは世界でもベストコースのひとつと評価する関係者も多い。



#### アクセス

- 〔クルマ〕** 東名阪自動車道・鈴鹿ICより。東名阪自動車道・亀山ICより。
- 〔電車〕** 近鉄・白子駅よりバス20分、タクシー15分。近鉄・平田町駅よりタクシー15分。伊勢鉄道・鈴鹿サーキット稲生駅より徒歩30分。

株式会社モリタランド 鈴鹿サーキット  
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-9181 <http://www.suzukacircuit.jp>



#### コースデータ

全長	5.807km
コース幅	10~16m
ストレート長	800m(メインストレート) 1000m(西ストレート)
コーナー数	18

#### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'36.996</b>	2014年4月12日(土)	アンドレ・ロッター／ベトロナストムSF14・トヨタRI4A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE
<b>F1</b>	<b>1'28.954</b>	2006年10月7日(土)	ミハエル・シューマッハー／フェラーリ248 F1 2006年 フジテレビジョン 日本グランプリ 鈴鹿
<b>F3</b>	<b>1'51.575</b>	2016年4月23日(土)	山下健太／ダラーラF312・トヨタ 2016年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE

## 岡山国際サーキット

### OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

第2戦 5月27日(土)・28日(日)

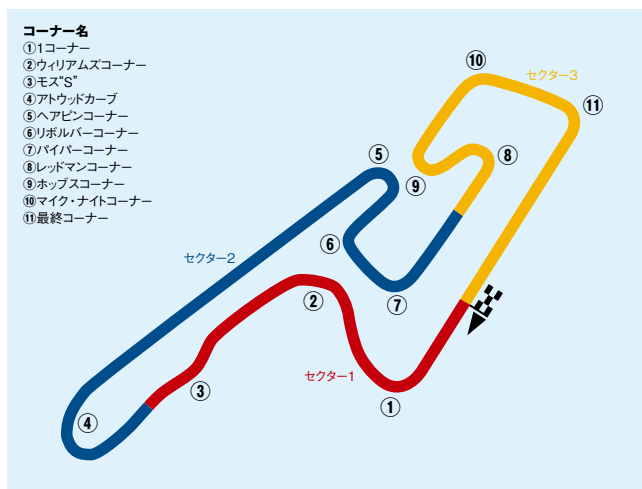
現在、中国地方で唯一のビッグレース開催サーキット。1994、95年にはF1を開催したこともある。コース長は3.7kmで、中低速コーナーの多いこぢんまりとしたテクニカルなレイアウトで観客席との距離が近い。各コーナーは往年のドライバーの名がつけられているのも特徴。一昨年より、2008年以来7年ぶりにスーパーフォーミュラが開催されるようになった。



#### アクセス

- 〔クルマ〕** 山陽自動車道・備前IC / 和気ICより30分。中国自動車道・美作ICより30分、作東ICより20分
- 〔電車〕** 山陽新幹線・JR岡山駅よりバス+タクシーで80分。山陽本線JR吉永駅より車で20分。
- 〔飛行機〕** 岡山空港より車で60分。

株式会社岡山国際サーキット  
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210  
TEL:0868-74-3311 FAX:0868-74-2600 <http://www.okayama-international-circuit.jp>



#### コースデータ

全長	3.703km
コース幅	12~15m
ストレート長	600m(メインストレート) 700m(バックストレート)
高低差	29m
コーナー数	13

#### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'12.429</b>	2015年5月23日(土)	石浦宏明 / P.MU/CERUMO・INGING DF14・トヨタRI4A 2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦
<b>F1</b>	<b>1'10.218</b>	1994年4月15日(金)	アイルトン・セナ / ウィリアムズFW16・ルノー 1994年 F1 世界選手権第2戦 パシフィックGP
<b>F3</b>	<b>1'20.990</b>	2016年5月28日(土)	ヤン・マーデンポロー / ダラーラF314・フォルクスワーゲン 2016年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦

# 富士スピードウェイ

## FUJI SPEEDWAY

第3戦 7月8日(土)・9日(日)

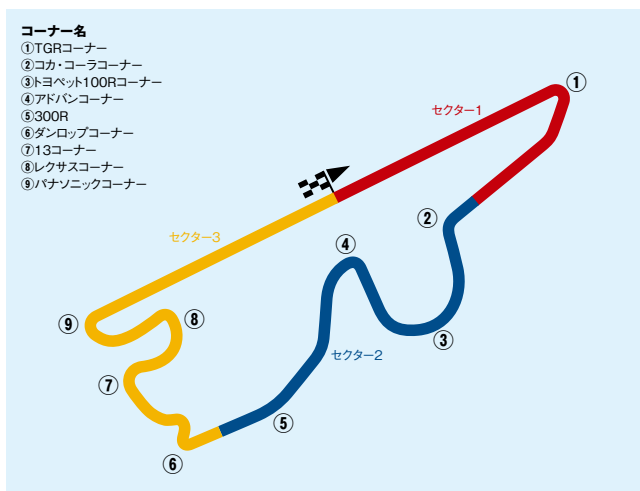
西の鈴鹿、東の富士と日本を代表する2大サーキットのひとつ。歴史も長く、日本のモータースポーツを育て、支えてきただけでなく、F1や世界耐久選手権などビッグイベントも開催してきた。約1.5kmにおよぶ世界屈指の長いストレートを持ち、高速コースとして知られたが、2005年に改修されコース後半はテクニカルなレイアウトとなった。



### アクセス

- 【クルマ】** 東名高速道路・御殿場ICより15分。  
中央高速道路・河口湖IC～富士五湖道路・須走ICより10分。
- 【電車】** JR御殿場線／小田急・御殿場駅よりバス25分。

富士スピードウェイ株式会社  
〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694  
TEL:0550-78-1234 FAX:0550-78-0205 <http://www.fsw.tv>



### コースデータ

全長	4.563km
コース幅	15~25m
ストレート長	1,475m(メインストレート)
コーナー数	16

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'22.572</b>	2014年5月17日(土)
アンドレ・ロッテラー／ベトロナストムスSF14・トヨタRI4A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第2戦		
<b>F1</b>	<b>1'17.287</b>	2008年10月11日(土)
フェリペ・マッサ／フェラーリF2008 2008年 F1世界選手権 フジテレビジョン 日本グランプリレース		
<b>F3</b>	<b>1'33.451</b>	2009年4月4日(土)
井口卓人／ダラーラF308 2009年 全日本選手権フォーミュラニッポン第1戦		

# ツインリンクもてぎ

## TWINRING MOTEGI

第4戦 8月19日(土)・20日(日)

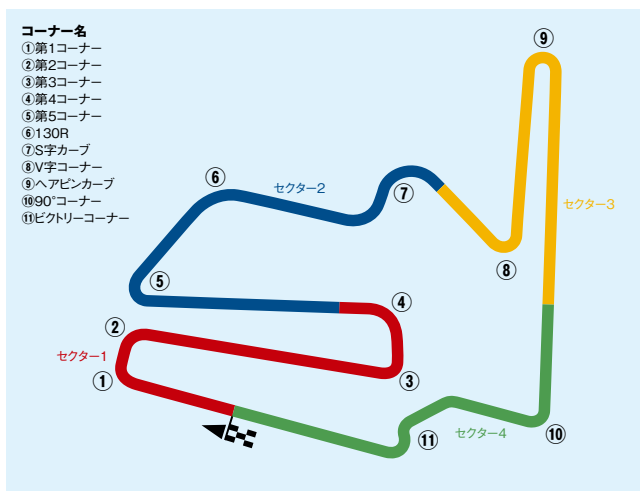
通常のロードコースと日本唯一のオーバル(楕円)コースと、ふたつの異なるタイプを持つ世界的にもまれなサーキット。スーパーフォーミュラで使うロードコースは比較的急なカーブと直線を結んだストップ(減速)＆ゴー(加速)の多いレイアウトとなっている。そのため、ブレーキやタイヤの摩耗が厳しい。



### アクセス

- 【クルマ】** 北関東自動車道・真岡IC、友部ICより。常磐自動車道・水戸IC、那珂IC、水戸北スマートICより。東北自動車道・宇都宮ICより。
- 【電車】** 真岡鉄道・茂木駅よりバス20分。東北新幹線・JR宇都宮駅よりバス90分。  
常磐線・JR水戸駅よりバス90分。

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ  
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009 <http://www.twinring.jp>



### コースデータ

全長	4.801km
コース幅	14
ストレート長	762m(ダウンヒルストレート)
高低差	30.4m
コーナー数	14

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'32.321</b>	2014年8月23日(土)
ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ／LENOVO TEAM IMPUL SF14・トヨタRI4A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第4戦		
<b>F3</b>	<b>1'44.078</b>	2013年5月11(土)
中山雄一／ダラーラF312 2013年 全日本F3選手権第4戦		

# オートポリス

## AUTOPOLIS

第5戦 9月9日(土)・10日(日)

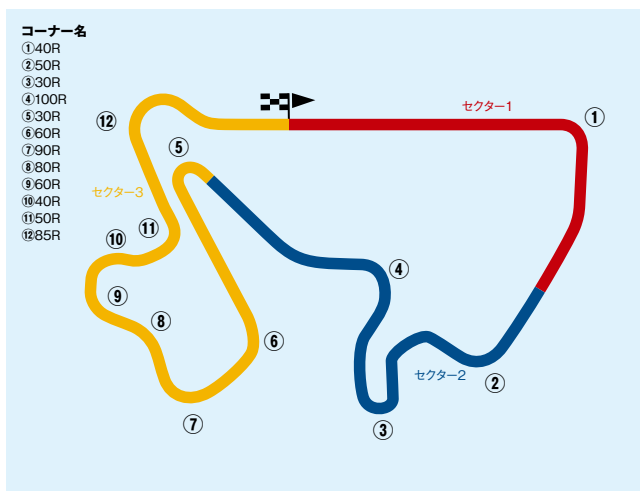
かつてスポーツカー世界選手権も開催された九州で初めての本格的国際格式のサーキット。阿蘇山の近くに位置し、アップダウンに富んだレイアウトが特徴で高低差は50mにも及ぶ。メインストレートは900mと長めだが、コース後半の下り坂からの右コーナーをはじめ、全体的にテクニカル&チャレンジングなコースといえる。



### アクセス

<b>〔クルマ〕</b>	大分自動車道・日田ICより70分。大分自動車道・湯布院ICより70分。福岡自動車道・福岡ICより140分。熊本市内より70分。
<b>〔飛行機〕</b>	熊本空港より車で40分。

株式会社オートポリス  
〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8  
TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113 <http://www.autopolis.jp>



### コースデータ

全長	4.674km
コース幅	12~15m
ストレート長	902m(メインストレート)
高低差	52m

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'26.469</b>	2014年9月13日(土)
山本尚貴 / TEAM 無限 SF14・ホンダHR-414E 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第5戦		
<b>グループC</b>	<b>1'27.188</b>	1991年10月26日(土)
テオ・ファビ / ジャガー-XJR-14 1991年 スポーツカー世界選手権第8戦		

# スポーツランドSUGO

## SPORTSLAND SUGO

第6戦 9月23日(土)・24日(日)

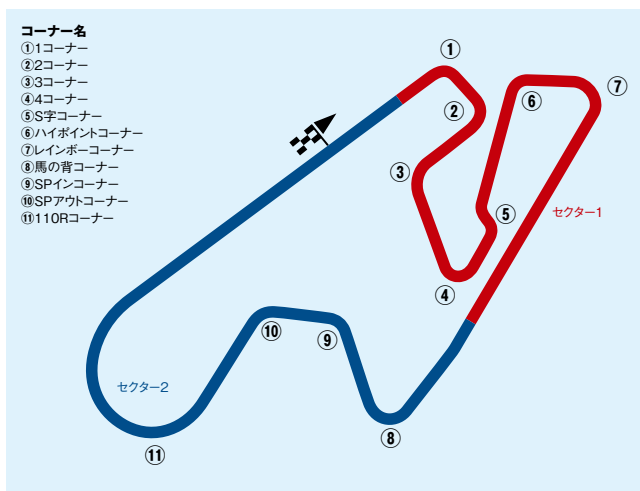
宮城県仙台郊外の山間にあり、地形を活かした高低差の大きなコース。最終コーナーからメインストレートにかけて10%という急勾配をマシンが駆け上ってくる姿はこのサーキットの特徴的なシーンとして知られる。前半はコーナーが連続するテクニカルなセクターで、後半は中高速のパートとなっている。



### アクセス

<b>〔クルマ〕</b>	東北自動車道・村田ICより10分。仙台南ICより15分。
<b>〔電車〕</b>	東北新幹線・JR仙台駅よりバス60分。
<b>〔飛行機〕</b>	仙台空港より車で40分。

株式会社菅生  
〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1  
TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790 <http://www.sportsland-sugo.co.jp>



### コースデータ

全長	3.704km
コース幅	10~12.5m
ストレート	704m
高低差	69.83m

### コースレコード

<b>SF</b>	<b>1'05.005</b>	2015年10月18日(土)
アンドレ・ロッター / PETORONAS TOMS SF14・トヨタRI4A 2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第6戦		
<b>F3</b>	<b>1'13.253</b>	2016年9月24日(土)
山下健太 / ダラーラF312・トヨタ 2016年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第6戦		

# 2016 SUPER FORMULA RACE RESULT

## 第1戦 鈴鹿サーキット 2016年4月24日 5.807km×43周=249.701km 天候:曇 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	43	1:13:59.415	202.49km/h	1:41.238	1	1:37.459
2	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	43	1:14:11.125	11.710	1:41.969	2	1:37.820
3	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	43	1:14:12.609	13.194	1:42.155	4	1:37.962
4	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	43	1:14:16.173	16.758	1:42.120	6	1:38.179
5	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	43	1:14:22.685	23.270	1:41.869	7	1:38.367
6	3	ジェームス・ロシター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	43	1:14:24.614	25.199	1:42.116	10	1:38.859
7	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	Honda HR-414E	43	1:14:29.467	30.052	1:41.498	9	1:38.772
8	65	ベルトラン・バゲット	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	43	1:14:30.455	31.040	1:41.977	12	1:38.887
9	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	43	1:14:36.825	37.410	1:42.615	15	1:39.964
10	19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	43	1:14:37.826	37.971	1:41.562	17	1:40.493
11	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	43	1:14:37.629	38.214	1:41.636	15	1:39.908
12	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	43	1:14:44.547	45.132	1:42.161	14	1:51.992
13	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	43	1:15:09.017	1:09.602	1:42.615	16	1:40.038
14	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	43	1:15:10.010	1:10.595	1:42.615	3	1:37.952
15	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	43	1:15:39.167	1:39.752	1:43.660	18	1:40.795
16	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	41	1:14:01.762	2Laps	1:41.606	8	1:38.842
11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	37	1:04:51.530	6Laps	1:42.133	11	1:38.867	
64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	35	1:02:26.355	8Laps	1:42.748	19	1:41.296	
7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	23	39:44.776	20Laps	1:42.119	13	1:39.042	

●ファステストラップ:1'41.167(206.64km/h) No.20 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 28周目 ●ポールポジション:1'37.459 No.16 山本尚貴 TEAM 無限 SF14  
※No.20 ペナルティストップ10秒 (全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第31条 5.(スタート手順)違反) ※No.8 ペナルティストップ10秒 (全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第21条 12.(ピット作業)違反)  
※No.7 罰金50,000円 (全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第21条 12.(ピット作業)違反) ※No.7 罰金50,000円 (全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第25条 2.(燃料補給)違反)

## 第2戦 岡山国際サーキット 2016年5月29日 3.703km×8周=29.624km 天候:雨 コース:ウェット

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	8	22:06.947	80.370 km/h	2:38.287	1	1:13.620
2	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	8	22:07.665	0.718	2:36.125	3	1:13.893
3	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	8	22:08.696	1.749	2:35.909	4	1:13.917
4	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	8	22:09.472	2.525	2:35.691	5	1:13.940
5	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	8	22:10.788	3.841	2:35.385	6	1:14.027
6	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	8	22:12.355	5.408	2:34.747	7	1:14.121
7	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	8	22:13.389	6.442	2:33.887	10	1:14.192
8	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	8	22:15.316	8.369	2:34.007	12	1:14.445
9	3	ジェームス・ロシター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	8	22:16.624	9.677	2:33.957	13	1:14.558
10	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	8	22:17.700	10.753	2:34.200	18	1:15.662
11	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	8	22:19.135	12.188	2:35.959	15	1:15.451
12	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	8	22:21.080	14.133	2:28.906	16	1:15.507
13	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	8	22:24.035	17.088	2:34.183	8	1:14.154
14	65	ベルトラン・バゲット	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	8	22:24.623	17.676	2:34.096	11	1:14.277
15	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	8	22:26.512	19.565	2:27.543	19	1:15.681
16	7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	8	22:27.543	20.596	2:26.149	14	1:14.575
17	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	8	22:28.378	21.431	2:35.247	9	1:14.185
18	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	8	22:32.335	25.388	2:19.960	17	1:15.519
19	19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	5	14:07.551	3Laps	2:39.975	2	1:13.842

●ファステストラップ:2'10.960(101.793km/h) No.8 小林可夢偉 SUNOCO TEAM LEMANS SF14 7周目 ●ポールポジション:1'13.620 No.1 石浦宏明 P.MU/CERUMO・INGING SF14  
※SC導入時刻 14:26(15Laps)~14:36(19Laps) ※No.8 全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第2章2.9.1を適用、セーフティカースタートと8周目導入した。  
※本決勝レースは、荒天のため、開始後23分24秒で赤旗提示にて中断。天候回復が見込めなため、本決勝レースを終了した。

## 第3戦 富士スピードウェイ 2016年7月17日 4.563km×55周=250.965km 天候:曇 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:12.917	176.49km/h	1:25.789	3	1:41.132
2	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:15.753	2.836	1:25.759	6	1:41.240
3	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:41.459	28.542	1:26.528	5	1:41.238
4	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:44.806	31.889	1:26.813	7	1:41.268
5	3	ジェームス・ロシター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:51.266	38.349	1:26.587	11	1:41.444
6	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:56.261	43.344	1:26.875	2	1:41.050
7	7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	55	1:25:56.268	43.351	1:26.840	12	1:44.402
8	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	55	1:26:02.931	50.014	1:26.772	10	1:43.812
9	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	55	1:26:12.405	59.488	1:27.544	15	1:45.147
10	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	55	1:26:20.721	1:17.804	1:27.064	9	1:43.519
11	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	54	1:25:18.461	1Lap	1:27.803	17	1:46.041
12	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	54	1:25:19.379	1Lap	1:26.945	19	1:46.234
13	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	54	1:25:30.219	1Lap	1:27.320	18	1:46.046
14	65	ベルトラン・バゲット	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	51	1:20:20.573	4Laps	1:26.331	4	1:41.210
41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	47	1:14:08.367	8Laps	1:26.245	1	1:40.778	
4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	40	1:04:33.978	15Laps	1:27.446	16	1:45.322	
16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	40	1:25:21.875	15Laps	1:26.417	14	1:45.239	
2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	14	21:28.970	41Laps	1:26.833	13	1:44.636	
64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E			未出走		8	1:41.289	

●ファステストラップ:1'25.759(191.546km/h) No.37 中嶋一貴 VANTELIN KOWA TOM'S SF14 6周目 ●ポールポジション:1'40.778 No.41 ストフェル・バンドーン DOCOMO DANDELION M41S SF14  
※SC導入時刻 14:26(15Laps)~14:36(19Laps) ※No.8 全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第15条1.1(他車への衝突行為)違反により、ドライビングスルーペナルティを科した。 ※No.11 国際モータースポーツ競技規則付則H項(SC中のコースアウト)違反により、ドライビングスルーペナルティを科した。 ※No.40 全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第21条12.(ピットエリア義務)違反により、ペナルティストップ10秒を科した。

## 第4戦 ツインリンクもてぎ 2016年8月21日 4.801km×52周=249.652km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:17.584	175.63km/h	1:36.496	1	1:33.002
2	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:23.711	6.127	1:36.713	4	1:33.719
3	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:24.292	6.708	1:36.461	2	1:33.417
4	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:38.910	21.326	1:37.103	5	1:33.758
5	3	ジェームス・ロシター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:49.580	31.996	1:37.030	7	1:33.908
6	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	52	1:25:53.345	35.761	1:37.142	9	1:33.667
7	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:53.918	36.334	1:36.824	11	1:33.714
8	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	52	1:26:01.781	44.197	1:37.479	8	1:33.988
9	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	52	1:26:02.177	44.593	1:36.444	14	1:34.664
10	64	中嶋 大祐	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	52	1:26:24.359	1:06.775	1:37.773	6	1:33.877
11	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	52	1:26:33.104	1:15.520	1:37.706	19	1:34.853
12	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	52	1:26:34.008	1:16.424	1:37.992	12	1:34.021
13	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:26:39.250	1:21.666	1:37.707	13	1:34.548
14	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	52	1:26:40.610	1:23.026	1:37.905	18	1:34.760
15	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	51	1:25:29.863	1Lap	1:38.296	17	1:34.741
65	ベルトラン・バゲット	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	35	58:44.989	17Laps	1:37.256	15	1:34.625	
7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	33	56:02.792	19Laps	1:38.014	16	1:34.678	
19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	7	11:44.600	45Laps	1:38.748	10	1:33.692	
40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	4	6:38.518	48Laps	1:37.811	3	1:33.677	

●ファステストラップ:1'36.444(179.22km/h) No.8 小林可夢偉 SUNOCO TEAM LEMANS SF14 33周目 ●ポールポジション:1'33.002 No.20 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

## 第5戦 岡山国際サーキット レース1 2016年9月10日 3.703km×28周=103.684km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	28	36:28.567	170.551km/h	1:17.564	3	1:14.157
2	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	28	36:33.362	4.795	1:17.572	2	1:14.150
3	7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	28	36:38.422	9.855	1:17.764	6	1:14.464
4	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	28	36:43.348	14.781	1:17.737	4	1:14.325
5	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	28	36:46.098	17.531	1:17.410	5	1:14.349
6	64	中嶋 大祐	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	28	36:47.069	18.502	1:17.965	9	1:14.548
7	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	28	36:48.349	19.782	1:17.966	8	1:14.500
8	19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	28	36:50.580	22.013	1:18.163	11	1:14.675
9	3	ジェームス・ロシター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	28	36:51.560	22.993	1:18.067	7	1:14.484
10	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	28	36:53.599	25.032	1:18.152	14	1:14.728
11	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	28	36:54.868	26.301	1:18.263	10	1:14.672
12	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	28	36:56.528	27.961	1:18.170	17	1:14.844
13	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	28	37:00.683				

# 2016 SUPER FORMULA RACE RESULT

## 第5戦 岡山国際サーキット レース2 2016年9月11日 3.703km×51周=188.853km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	2	国本 雄貴	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'31.812	158.411km/h	1:17.755	6	1:14.928
2	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'32.980	1.168	1:17.676	11	1:15.271
3	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'33.495	1.683	1:17.232	2	1:14.656
4	36	アンドレ・ロッチャー	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'37.079	5.267	1:17.761	13	1:15.344
5	19	ジョアオ・バトロ・デ・オリベイラ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'41.302	9.490	1:17.760	5	1:14.914
6	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	51	1:11'43.331	11.519	1:17.743	15	1:15.547
7	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	51	1:11'45.426	13.614	1:18.319	3	1:14.712
8	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	51	1:11'47.868	16.056	1:17.914	16	1:15.652
9	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'51.781	19.969	1:17.948	8	1:15.288
10	3	ジェームス・ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'52.561	20.749	1:18.725	4	1:14.836
11	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	51	1:11'54.270	22.458	1:18.435	4	1:15.952
12	64	中嶋 大祐	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	51	1:11'56.668	24.856	1:18.217	14	1:15.463
13	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	51	1:11'57.725	25.913	1:18.611	12	1:15.273
14	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	51	1:11'58.287	26.475	1:17.622	18	1:15.876
15	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	51	1:12'01.472	39.660	1:18.676	17	1:15.656
16	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	51	1:12'14.217	42.405	1:18.015	1	1:14.404
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	51	1:12'34.882	1'03.070	1:18.853	10	1:29.938
18	65	ヘルトラン・バゲット	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	50	1:12'16.905	1Lap	1:17.284	9	1:15.720
7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	29	38'53.507	22Laps	1:17.784	7	1:15.246	

●ファステストラップ:1'17.232(172.607km/h) No.1 石浦宏明 P.MU/CERUMO-INGING SF14 44周目 ●ポールポジション:1'14.404 No.40 野尻智紀 DOCOMO DANDELION M40Y SF14

\*本決勝レースは、30周目にSC導入し34周目に離脱した。

\*\*No.40 国際モータースポーツ競技規則 付則H項 第2章 2.9.10 (第2SCラインでの追い越し)違反により、ドライビングスルーペナルティを課した。

## 第6戦 スポーツランドSUGO 2016年9月25日 3.704km×68周=251.872km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1:22'26.480	183.323km/h	1'07.736	1	1'05.398
2	64	中嶋 大祐	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	68	1:22'40.758	14.278	1'08.865	4	1'05.544
3	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	68	1:22'45.365	18.885	1'08.728	3	1'05.506
4	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1:22'45.811	19.331	1'08.730	2	1'05.416
5	36	アンドレ・ロッチャー	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1:22'46.735	20.255	1'08.486	9	1'05.982
6	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	68	1:22'49.581	23.101	1'08.657	5	1'05.598
7	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	68	1:22'50.470	23.990	1'08.463	13	1'06.196
8	3	ジェームス・ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1:22'53.881	27.401	1'08.505	8	1'06.361
9	65	ヘルトラン・バゲット	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	68	1:22'54.662	28.182	1'08.442	11	1'06.027
10	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1:23'04.881	38.001	1'08.553	16	1'06.403
11	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	68	1:23'04.805	38.325	1'08.747	12	1'06.057
12	7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	68	1:23'05.304	38.824	1'08.713	14	1'06.232
13	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	68	1:23'08.674	42.194	1'08.293	18	1'06.617
14	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	68	1:23'16.208	49.728	1'08.790	19	1'06.754
15	2	国本 雄貴	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:23'21.000	54.520	1'08.384	17	1'06.411
16	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:23'24.837	58.357	1'08.608	10	1'05.997
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	67	1:22'41.261	1Lap	1'08.065	15	1'06.361
19	ジョアオ・バトロ・デ・オリベイラ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	17	20'23.450	51Laps	1'08.856	6	1'05.629	
18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	4	4'51.429	64Laps	1'10.044	7	1'06.208	

●ファステストラップ:1'07.736(196.872km/h) No.20 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 53周目 ●ポールポジション:1'05.398 No.20 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

## 第7戦 鈴鹿サーキット レース1 2016年10月30日 5.807km×19周=110.333km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	2	国本 雄貴	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	19	31'58.809	207.00km/h	1'40.387	2	1'37.801
15	36	アンドレ・ロッチャー	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	19	32'00.581	1.772	1'40.221	4	1'37.884
3	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	19	32'11.896	13.087	1'40.951	1	1'37.453
4	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	19	32'20.949	22.140	1'40.867	3	1'37.833
5	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	19	32'22.952	24.143	1'41.066	6	1'38.048
6	65	ヘルトラン・バゲット	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	19	32'23.760	24.951	1'41.216	5	1'37.941
7	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	19	32'25.896	27.087	1'41.081	12	1'38.525
8	19	ジョアオ・バトロ・デ・オリベイラ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	19	32'35.080	36.271	1'41.841	10	1'38.484
9	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	19	32'35.348	36.539	1'42.084	8	1'38.239
10	64	中嶋 大祐	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	19	32'35.620	36.811	1'41.910	11	1'38.491
11	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	19	32'36.255	37.446	1'41.995	14	1'38.761
12	3	ジェームス・ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	19	32'36.713	37.904	1'41.465	18	1'39.076
13	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	19	32'41.570	42.761	1'41.937	17	1'39.006
14	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	19	32'41.880	43.071	1'41.981	15	1'38.788
15	7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	19	32'42.110	43.301	1'41.608	16	1'38.916
16	11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	19	32'46.249	47.440	1'40.741	19	1'39.469
17	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	19	32'47.091	48.282	1'41.356	7	1'38.153
18	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	19	33'04.168	1'05.359	1'41.278	13	1'38.592
19	16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	18	32'50.228	1Lap	1'40.347	9	1'38.288

●ファステストラップ:1'40.221(208.59km/h) No.36 アンドレ・ロッチャー VANTELIN KOWA TOM'S SF14 4周目 ●ポールポジション:1'37.453 No.1 石浦宏明 P.MU/CERUMO INGING SF14

\*\*No.20 競技結果に30秒加算した。(全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第15条1.(危険なドライブ行為))

## 第7戦 鈴鹿サーキット レース2 2016年10月30日 5.807km×35周=203.245km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	41	ストフェル・バンドーン	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	35	1:08'32.427	177.92km/h	1'41.108	2	1'37.031
2	36	アンドレ・ロッチャー	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'33.153	0.726	1'41.069	5	1'37.537
3	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'36.415	3.988	1'40.943	1	1'37.026
4	19	ジョアオ・バトロ・デ・オリベイラ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'38.898	6.471	1'41.612	10	1'38.208
5	65	ヘルトラン・バゲット	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	35	1:08'40.927	8.500	1'41.289	7	1'37.898
6	2	国本 雄貴	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'45.439	13.012	1'41.953	3	1'37.224
7	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'46.523	14.096	1'42.021	14	1'38.546
8	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'47.783	15.356	1'41.812	13	1'38.795
9	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	35	1:08'50.780	18.353	1'42.445	12	1'38.546
10	64	中嶋 大祐	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	35	1:08'51.607	19.18	1'41.531	8	1'37.961
11	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'53.071	20.644	1'41.847	15	1'38.788
12	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-414E	35	1:08'56.849	24.422	1'41.275	9	1'38.175
13	4	ウィリアム・ブラー	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	35	1:08'57.744	25.317	1'42.695	17	1'39.006
14	7	ナレイン・カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	35	1:09'39.733	1'07.306	1'39.712	16	1'38.916
15	3	ジェームス・ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	35	1:09'51.541	1'19.114	1'40.777	18	1'39.076
16	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	35	1:10'00.851	1'28.424	1'41.093	6	1'37.626
16	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	28	52'32.142	7Laps	1'42.422	11	1'38.212	
11	伊沢 拓也	REAL SF14	Honda HR-414E	22	38'55.904	13Laps	1'42.735	19	1'39.469	
40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	15	26'47.655	20Laps	1'41.957	4	1'37.438	

●ファステストラップ:1'39.712(209.66km/h) No.7 ナレイン・カーティケヤン SUNOCO TEAM LEMANS SF14 35周目 ●ポールポジション:1'37.026 No.1 石浦宏明 P.MU/CERUMO INGING SF14

\*\*SC導入:1回目 15:30'03(23Laps) ~ 15:38'14(26Laps) 2回目 15:42'03(28Laps) ~ 15:51'05(30Laps)

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 1996

TEAM  
DRIVER

## 1996 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	X-JAPAN Racing Team LeMans	78	6	ANABUKI 童夢無限 / avex 童夢無限	21
2	かもめサービスIMPUL/カルソニックIMPUL	38	7	神奈川クリニック STELLAR	9
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35	8	ADVAN/バルチェッカーズ / バルチェッカーズ	8
4	SHIONOGI TEAM NOVA	35	9	NAVI CONNECTION RACING TEAM	5
5	FUNAI SUPER AGURI	28	10	TEAM 5ZIGEN	3

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

## 1996 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/28	Rd.02 MINE 5/12	Rd.03 富士 5/26	Rd.04 十勝 6/23	Rd.05 鈴鹿 7/7	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/15	Rd.09 鈴鹿 9/29	Rd.10 富士 10/20	Total
1	25	R.シューマッハー	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	4	10	(19)	10	3	(R)	(R)	10	3	(R)	40
2	14	服部 尚貴	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	(8)	(R)	6	4	4	(8)	10	4	10	(R)	38
3	19	星野 一義	カルソニック RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52	無限MF308	BS	10	(R)	4	3	2	6	(R)	(R)	6	(R)	31
4	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	4	(R)	(R)	10	10	(R)	(R)	1	(R)	25
5	10	N.フォンタナ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	(14)	6	10	(R)	(8)	(R)	6	(R)	(11)	(R)	22
6	8	中野 信治	TEAM avex 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	6	(13)	(R)	(9)	1	(7)	4	6	(9)	3	20
7	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D, 96D	無限MF308	BS	1	(R)	3	2	(7)	(R)	3	(R)	(R)	10	19
8	9	P.テラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	2	(7)	1	1	(R)	(11)	1	(R)	2	6	13
9	65	黒澤 琢弥	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(8)	(15)	(7)	6	2	(8)	2	(8)	(R)	10
10	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D, 94D	無限MF308	BS	(7)	(R)	2	(17)	(12)	4	2	1	(R)	(R)	9
11	7	影山 正美	ADVAN バルチェッカーズ	ローラT95/50 レイナード96D	無限MF308	YH	(10)	2	(R)	6	(17)	(15)	(9)	(11)	(R)	(R)	8
12	1	鈴木 利男	かもめサービス RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52,T94/50	無限MF308	BS	(18)	(R)	(12)	(11)	(9)	(10)	(7)	3	4	(R)	7
13	20	A.ギルバートスコット	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(7)	(15)	(R)	3	(R)	7	(R)	2	5
14	27	影山 正彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D, 96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(R)	(R)	(16)	(12)	(R)	(9)	(7)	4	4
15	21	M.クルム	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D, 95D	無限MF308	BS	3	1	(11)	(16)	(11)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)	4
16	5	M.アピチュラ	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D, 96D	ジャッドKV-II	YH	(12)	3	(8)	(8)	(14)	(13)	(12)	(R)	(10)	(R)	3
17	28	近藤 真彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード94D, 95D	無限MF308	BS	(R)	(9)	(16)	(14)	(R)	(R)	(14)	-	(R)	1	1
17	2	山本 勝巳	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	(9)	(R)	(10)	(R)	(R)	1	(R)	(14)	(R)	(R)	1
72	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(R)	(11)	(R)	(13)	(19)	(16)	(13)	(R)	(R)	(7)	0	0
28	T.クリステンセン	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D	無限MF308	BS	-	-	-	-	-	-	-	(8)	-	-	-	0
6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	ローラT94/50 レイナード95D	ジャッドKV-II	YH	(R)	(R)	(9)	(R)	(10)	(14)	(10)	(12)	(R)	(R)	(R)	0
31	岡田 秀樹	チーム ガルウイング	ローラT95/50	無限MF308	BS	(11)	(R)	(17)	(10)	(20)	(R)	(11)	(10)	(R)	(R)	(R)	0
17	大西 太一郎	バルチェッカーズ	ローラT94/50	無限MF308	YH	(15)	(10)	(14)	(18)	(15)	(R)	(R)	(R)	(14)	(R)	(R)	0
30	田嶋 栄一	チーム ガルウイング	ローラT94/50	無限MF308	BS	(13)	(12)	(13)	(12)	(18)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(NS)	0
12	羽根 幸浩	スラムビューティハウス CERUMO	ローラT94/50	無限MF308	BS	(16)	(R)	(R)	(R)	(13)	(R)	(16)	(13)	(12)	(R)	(R)	0
15	田中 哲也	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	-	-	-	-	-	(R)	-	-	(13)	-	-	0
73	玉中 哲二	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(17)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(15)	(R)	(R)	(R)	0
15	山田 政夫	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	(落)	(落)	(18)	(落)	(落)	-	(15)	(落)	-	(R)	(R)	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走せず、落=予選不通過、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。●タイヤ略号:BS=ブリヂストン、YH=ヨコハマ。

# 1997

TEAM  
DRIVER

## 1997 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	SHIONOGI TEAM NOVA	89	7	FUNAI SUPER AGURI	17
2	TEAM IMPUL	44	8	TEAM TMS	12
3	Team LeMans	23	9	オートテック STELLAR/STP STELLAR	6
4	PIAA NAKAJIMA RACING	20	10	かもめサービスMIRAI/スーパーノヴァMIRAI	5
5	TEAM CERUMO	20	11	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	4
6	NAVI CONNECTION RACING TEAM	19	12	エースケー アスカ	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

## 1997 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/27	Rd.02 MINE 5/18	Rd.03 富士 6/1	Rd.04 鈴鹿 7/6	Rd.05 SUGO 8/3	Rd.06 富士 8/31	Rd.07 MINE 9/14	Rd.08 もてぎ 9/28	Rd.09 富士 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/9	Total
1	9	P.テラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308		10	10	6	4	10	10	6	10	6	10	82
2	19	黒澤 琢弥	TEAM IMPUL	ローラT96/52	無限MF308		6	6	10	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	6	28
3	1	N.フォンタナ	Team LeMans	レイナード96D, 97D	無限MF308		(9)	(8)	1	(R)	(7)	6	10	4	(R)	(R)	21
4	11	光貞 秀俊	TEAM CERUMO	ローラT96/52	無限MF308		4	(7)	3	3	(R)	4	4	(9)	2	-	20
5	27	影山 正美	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード96D, 97D	無限MF308		(11)	(9)	(11)	2	1	3	(7)	6	4	3	19
6	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308		(R)	(R)	4	10	(R)	(R)	2	(R)	(R)	2	18
7	20	影山 正彦	TEAM IMPUL	レイナード96D ローラT95/50	無限MF308		(R)	(R)	2	6	4	(R)	(15)	(R)	(12)	4	16
8	18	R.ファーマン	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308		(R)	3	(15)	1	6	(13)	(R)	2	(R)	(11)	12
9	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード96D	無限MF308		(7)	(R)	(R)	(10)	(R)	(18)	(8)	(R)	10	(R)	10
10	10	飯田 章	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308		1	4	(R)	(7)	(R)	2	(10)	(11)	(R)	(13)	7
11	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード94D, 97D	無限MF308		3	(R)	(R)	(R)	(R)	1	(R)	3	-	-	7
12	35	M.アピチュラ	オートテック STELLAR	レイナード96D	無限MF308		-	-	-	(8)	2	(8)	3	(R)	1	(8)	6
13	33	鈴木 利男	かもめサービス with MIRAI	レイナード97D, 96D	無限MF308		(8)	2	(7)	(R)	3	(16)	(9)	(8)	(R)	(9)	5
14	8	脇阪 寿一	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104R	無限MF308		(12)	1	(R)	(R)	3	(7)	(11)	3	(NS)	(R)	4
15	65	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308		2	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(R)	(17)	(R)	(7)	2
16	2	Eトゥエロ	Team LeMans	レイナード96D, 97D	無限MF308		(R)	(R)	(9)	(11)	(R)	1	-	-	-	-	1
16	21	田中 哲也	エースケー アスカ	ローラT95/50	無限MF308		(R)	-	-	-	(R)	(11)	(14)	(R)	(13)	1	1
35	11	M.クルム	オートテック STELLAR Team LeMans TEAM CERUMO	レイナード96D レイナード97D ローラT96/52	無限MF308		(R)	(13)	(R)	-	-	-	-	1	-	(10)	1
28	山本 勝巳	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D, 97D, 96D	無限MF308		(10)	(R)	(R)	(9)	(R)	(12)	(R)	(14)	(7)	(R)	(R)	0
34	A.ポルドリーニ	STP STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		-	-	-	-	-	-	(13)	(7)	-	(R)	0	
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	無限MF308		(R)	(10)	(16)	(15)	(9)	(R)	(12)	(15)	(8)	(14)	0	
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308		(15)	(R)	(12)	(14)	(8)	(14)	(R)	(13)	(11)	(R)	0	
6	田嶋 栄一	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II		-	-	-	(13)	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(12)	0	
2	立川 祐隆	Team LeMans	レイナード96D, 97D	無限MF308		-	-	-	-	-	-	-	-	(9)	(R)	0	
5	M.グーセン	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II 無限MF308		(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	(R)	(R)	0	
63	D.マラガム	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード96D	無限MF308		(R)	(11)	(14)	(R)	(10)	-	-	-	-	-	0	
12	柴原 真介	TEAM CERUMO	ローラT94/50	無限MF308		-	-	-	-	-	-	-	(12)	(10)	(R)	0	
6	R.ヴィルタネン	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D	ジャッドKV-II		(R)	(R)	(10)	-	-	-	-	-	-	-	0	
34	A.ギルバートスコット	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		-	-	-	(12)	-	(R)	-	-	(14)	-	0	
37	山田 政夫	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT94/50	無限MF308		(R)	(12)	(R)	(R)	(失)	-	(落)	(落)	(落)	(落)	0	
36	玉中 哲二	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT95/50	無限MF308		(13)	(R)	(13)	(16)	(R)	(R)	(R)	(R)	(落)	(落)	0	
12	S.カヴァナ	TEAM CERUMO	レイナード95D	コスワースAC		(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード96D, 95D	無限MF308		-	-	-	-	(15)	(16)	(16)	(R)	(16)	0	0	
32	V.ンスピリ	スーパーノヴァ with MIRAI	レイナード97D	無限MF308		-	-	-	-	-	-	-	(R)	(15)	0	0	
62	戸田 哲史	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード94D	無限MF308		-	-	-	(17)	(R)	(17)	-	-	-	-	0	
34	M.マルティネーニ	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		-	-	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	
56	道上 龍一	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D	無限MF308		-	-	-	-	-	-	-	-	-	(NS)	0	

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走せず、失=失格、落=予選不通過、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。●タイヤはブリヂストンのワンメイク。  
●第2戦はスタート直後に赤旗中断。最初のスタートでクラッシュした高木、本山、近藤は再スタートできなかったためリタイア。(同様の事例は本書内ではすべてリタイアと表記)

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 1998

TEAM

DRIVER

## 1998 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LEMONEd Racing Team LeMans	66	6	JACCS MOONCRAFT M.S.P	11
2	SHIONOGI TEAM NOVA	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	11
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	38	8	PIAA NAKAJIMA RACING	10
4	MAZIORA TEAM IMPUL	27	9	TEAM TMS	2
5	TEAM SZIGEN	17	10	BE BRIDES RACING	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 1998 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 もてぎ MINE 5/17	Rd.03 富士 5/31	Rd.04 もてぎ 6/14	Rd.05 鈴鹿 7/5	Rd.06 SUGO 8/2	Rd.07 富士 8/30	Rd.08 MINE 9/20	Rd.09 富士 10/18	Rd.10 鈴鹿 11/29	Total
1	8	本山 哲	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	(R)	10	(R)	6	(R)	3		10	6	(R)	45
2	1	影山 正美	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	6	(10)	(R)	4	4	10		1	3	10	38
3	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT97/51	(R)	6	(R)	10	3	(R)		(R)	(R)	6	25
4	20	影山 正彦	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT96/52	10	(R)	(R)	(8)	10	(R)		(R)	(R)	1	21
5	7	N.フォンタナ	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	4	(R)	1	(R)	(8)	(R)		6	10	(8)	21
6	5	M.ゲーセン	TEAM SZIGEN	レイナード97D	1	3	(R)	(R)	6	(R)		4	(R)	3	17
7	2	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51, T97/51 Gフォース98N	(12)	(R)	(R)	(14)	(R)	6		3	4	(7)	13
8	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT98/51	3	2	6	(R)	(R)	(7)		2	(10)	(R)	13
9	14	道上 龍	JACCS MOONCRAFT M.S.P	レイナード96D	(7)	4	3	(9)	(R)	(R)		(R)	(R)	4	11
10	11	野田 英樹	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT98/51	2	(R)	2	1	(R)	4		(R)	(9)	(R)	9
11	65	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(8)	1	(R)	3	2	2		(R)	(R)	(14)	8
12	19	黒澤 琢弥	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT98/51	(R)	(R)	4	(R)	(R)	(R)		(R)	(R)	2	6
13	12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT96/52	-	-	(8)	(R)	(R)	(9)		(R)	2	(12)	2
13	18	立川 祐路	TEAM TMS	レイナード97D	-	-	(9)	2	(R)	(R)		(R)	(R)	(9)	2
15	64	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	-	-	-	-	1	-		-	-	-	1
15	64	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(R)	(7)	(R)	(R)	-	1		(R)	(R)	(11)	1
15	21	田中 哲也	BE BRIDES RACING	ローラT95/50	(R)	(R)	(7)	(R)	(R)	(11)		(R)	1	(16)	1
	17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	(9)	(8)	(11)	(10)	(7)	(8)		(7)	(7)	(R)	0
	6	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード96D	(10)	(R)	(10)	(7)	(R)	(12)		(R)	(R)	(10)	0
	22	石川 朗	BE BRIDES RACING	レイナード94D	(R)	(R)	(R)	(11)	(9)	(10)		(R)	(8)	(15)	0
	36	玉中 哲二	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT96/51	(R)	(11)	(14)	(13)	(R)	(R)		(8)	(R)	(17)	0
	63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 97D	(13)	-	-	(R)	(NS)	(13)		(9)	(R)	(18)	0
	3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)		(R)	(R)	(13)	0
	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 96D	(11)	(R)	(12)	(12)	(R)	(R)		(10)	(11)	(R)	0
	35	D.マラガムワ	STELLAR INTERNATIONAL	レイナード96D	-	-	-	-	-	-	(落)	(R)	(12)	-	0
	63	大西 太一郎	TEAM LEYJUN	レイナード95D	-	(R)	(13)	-	-	-		-	-	-	0
	18	高橋 毅	TEAM TMS	レイナード97D	(14)	(R)	-	-	-	-		-	-	-	0
	37	山田 政夫	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT94/50, T95/50	-	(R)	(15)	(R)	(落)	-		-	-	-	0
	35	徳田 季晴	KYOETSU STELLAR	レイナード96D	(R)	-	-	-	-	-		-	-	-	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、-は不出場。●太字はポールポジション。第7戦のポールは黒澤琢弥。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●第7戦富士は悪天候のため決勝は中止。●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1999

TEAM

DRIVER

## 1999 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	17
2	UNLIMITED RACING Team LeMans	52	7	TEAM LEYJUN	16
3	BE BRIDES IMPUL	24	8	TEAM TMS	11
4	SHIONOGI TEAM NOVA	22	9	SPEEDMASTER MOONCRAFT	10
5	TEAM SZIGEN	21	10	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 1999 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/9	Rd.03 MINE 5/23	Rd.04 富士 6/6	Rd.05 鈴鹿 7/4	Rd.06 SUGO 8/1	Rd.07 富士 9/5	Rd.08 MINE 9/19	Rd.09 もてぎ 10/3	Rd.10 鈴鹿(東) 11/14	Total
1	64	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	6	(R)	4	10	6	10	10	(R)	4	(R)	50
2	1	本山 哲	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	10	6	10	(R)	(R)	6	4	(R)	10	(R)	46
3	65	光貞 秀俊	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	4	10	(8)	(10)	2	(11)	3	10	2	(9)	31
4	9	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	4	6	(9)	(R)	1	(10)	(9)	(8)	10	21
5	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	-	2	(R)	4	(11)	3	(9)	3	(R)	6	18
6	19	影山 正美	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(R)	1	(12)	10	(R)	(R)	(R)	3	3	17
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(15)	(10)	(NS)	(9)	2	6	4	(11)	4	16
8	62	P.ダンブレンク	TEAM LEYJUN	レイナード99L	3	1	2	6	(R)	(R)	2	2	(10)	(10)	16
9	18	黒澤 琢弥	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(R)	(12)	2	4	4	-	-	-	-	10
10	14	道上 龍	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	1	(8)	(7)	(8)	(NS)	(R)	(7)	(R)	6	2	9
11	20	野田 英樹	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(16)	(13)	(14)	1	(R)	(R)	6	(9)	(11)	7
12	2	山西 康司	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	(NS)	(NS)	3	3	(8)	(9)	(8)	(R)	(16)	(R)	6
13	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	2	3	(R)	(7)	(7)	(R)	(R)	1	(8)	(R)	6
14	6,5	田中 哲也	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	-	-	-	3	(R)	(11)	(R)	(14)	(18)	3
15	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(R)	(8)	1	(R)	(R)	(7)	1
15	15	影山 正彦	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	(R)	(12)	(R)	(13)	(R)	(13)	(R)	1	(12)	(13)	1
15	10	加藤 寛規	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	(10)	(R)	(15)	(10)	(12)	(12)	(R)	(7)	1	1
15	17	D.シュワガー	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(7)	(R)	1	(R)	(7)	-	-	-	-	1
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード99L	(8)	(R)	(11)	(18)	(13)	(R)	(13)	(7)	(R)	(16)	0	0
12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(7)	(R)	(R)	(16)	(R)	(10)	(14)	(R)	(13)	(12)	0	0
63	柴原 真介	TEAM LEYJUN	ローラB99/51	-	-	-	-	-	-	(R)	(8)	(15)	(14)	0	0
68	R.デルフラ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ローラB99/51	(R)	(11)	(9)	(17)	(12)	(14)	(R)	(NS)	(R)	(15)	0	0
5	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	(9)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	-	(14)	(19)	(14)	(R)	(R)	(10)	(R)	(17)	0	0
32	近藤 真彦	MIRAI	ローラB99/51	(R)	(13)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L	(R)	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2000

TEAM

---

DRIVER

## 2000 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	113	6	Team Morinaga NOVA	9
2	TEAM SZIGEN	45	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	9
3	TEAM IMPUL	34	8	TEAM LEYJUN	5
4	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27	9	MOONCRAFT	2
5	Team LeMans	16			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2000 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/26	Rd.02 もてぎ 4/16	Rd.03 MINE 5/21	Rd.04 富士 6/4	Rd.05 鈴鹿兼SP 7/2	Rd.06 SUGO 7/30	Rd.07 もてぎ 8/20	Rd.08 富士 9/3	Rd.09 MINE 9/17	Rd.10 鈴鹿 11/5	Total
1	0	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	10	10	(R)	10	10	10	10	10	10	6	86
2	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	6	6	6	(NS)	4	2	6	2	(R)	3	35
3	19	本山 哲	TEAM IMPUL	レイナード99L	1	3	(R)	(8)	1	3	4	6	6	10	34
4	2	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	(12)	4	10	(16)	2	(11)	3	(R)	4	4	27
5	7	野田 英樹	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(10)	4	(15)	6	(R)	2	1	(17)	2	15
6	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	3	1	2	4	(R)	4	(11)	(R)	—	—	14
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(11)	2	3	6	(8)	(R)	(9)	(R)	1	1	13
8	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	4	(7)	1	2	3	(R)	(7)	(8)	(8)	(9)	10
9	9	R.ファーマン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(11)	(R)	1	(7)	6	(10)	(13)	2	(R)	9
10	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(8)	(R)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	3	3	(12)	9
11	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード2KL	(9)	(12)	(9)	(7)	(9)	1	(R)	4	(13)	(14)	5
12	14	脇阪 薫一	MOONCRAFT	レイナード99L	2	(8)	(R)	(R)	(R)	(8)	(13)	(9)	(R)	(8)	2
13	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(15)	(R)	(12)	(12)	(R)	1	(10)	(16)	(R)	1
10	10	山西 康司	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(9)	(7)	(11)	(14)	(R)	(R)	(R)	(7)	(7)	0
3	近藤 真彦	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	(14)	(R)	(13)	(13)	(7)	(R)	(R)	(11)	(10)	0	0
68	道上 龍	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(13)	(R)	(R)	(10)	(R)	(8)	(7)	(9)	(R)	0	0
12	J.ヴェルチューク	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(13)	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(12)	(11)	(12)	(11)	0	0
21	A.ユーン	TEAM MALAYSIA	レイナード99L	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(9)	(R)	(12)	(R)	(R)	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	レイナード99L	(R)	(R)	(10)	(10)	(15)	(10)	(R)	(R)	(14)	(R)	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L GフォースGF03	(10)	(R)	(11)	(14)	(R)	—	(14)	(14)	(15)	(13)	0	0
4	土屋 武士	Olympic KONDO Racing Team	GフォースGF03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(10)	—	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2001

TEAM

---

DRIVER

## 2001 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM SZIGEN	53	6	MOONCRAFT	22
2	excite TEAM IMPUL	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	16
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	40	8	Team Morinaga NOVA	5
4	PIAA NAKAJIMA RACING	37	9	Team LeMans	2
5	Olympic KONDO Racing Team	34			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2001 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/25	Rd.02 もてぎ 4/22	Rd.03 MINE 5/20	Rd.04 富士 6/3	Rd.05 鈴鹿兼SP 7/1	Rd.06 SUGO 7/29	Rd.07 富士 9/2	Rd.08 MINE 9/23	Rd.09 もてぎ 10/21	Rd.10 鈴鹿 11/18	Total
1	19	本山 哲	excite TEAM IMPUL	レイナード01L	(R)	(9)	10	(R)	10	10	3	10	6	(R)	49
2	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	10	10	2	10	(8)	(7)	(12)	1	(18)	(10)	33
3	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	レイナード01L	(13)	6	(11)	(R)	3	3	6	4	2	6	30
4	2	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	2	(R)	6	1	(R)	(R)	(7)	(8)	10	10	29
5	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	6	(10)	(12)	(14)	1	6	10	(失)	(16)	(R)	23
6	14	道上 龍	MOONCRAFT	レイナード01L	—	(R)	(10)	4	6	4	(R)	(R)	4	4	22
7	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L、01L	(R)	3	3	6	(R)	1	4	(R)	(7)	3	20
8	56	土屋 武士	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(10)	(11)	4	(R)	4	(R)	(14)	6	1	2	17
9	11	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	3	2	1	2	(R)	(11)	1	3	(8)	(7)	12
10	1	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	(R)	4	(8)	(R)	2	2	(R)	(R)	(9)	(9)	8
11	10	A.クート	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03C レイナード99L	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	(R)	2	(R)	3	(14)	5
12	12	荒 聖治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	4	(R)	(R)	(R)	(9)	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	4
12	4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	1	(15)	3	(R)	(9)	(11)	(R)	(11)	(13)	4
14	7	山西 康司	Team LeMans	レイナード99L	—	—	—	—	—	—	(10)	2	(10)	(R)	2
14	20	N.カーテイヤン	excite TEAM IMPUL	レイナード99L	1	(7)	(9)	(R)	(R)	(13)	(9)	(R)	(14)	1	2
7	A.ユーン	Team LeMans	レイナード99L	(11)	(R)	(7)	(7)	(10)	(R)	—	—	—	—	0	0
8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(7)	(8)	(17)	(R)	(17)	(8)	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード2KL、99L	(15)	(NS)	(14)	(8)	(R)	(15)	(15)	(7)	(15)	(R)	0	0
9	R.ライアン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03	(8)	(8)	(R)	(9)	(11)	(12)	(R)	(R)	(13)	(12)	0	0
37	影山 正彦	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード99L	(12)	(R)	(R)	(10)	(NS)	(14)	(16)	(R)	(R)	(R)	0	0
68	野田 英樹	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	(13)	(R)	(R)	(11)	0	0
69	J.ヴェルチューク	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	(14)	(R)	(13)	(NS)	—	—	—	—	—	—	0	0
69	光貞 秀俊	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	—	—	—	—	—	(13)	—	—	—	—	0	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。



# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2002

DRIVER

TEAM

## 2002 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	6
2	XBOX TEAM IMPUL	60	7	Olympic KONDO Racing Team	3
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	44	8	FORWARD NOVA	2
4	TEAM 5ZIGEN	34	9	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	1
5	Team LeMans	29			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2002 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/24	Rd.02 富士 4/7	Rd.03 MINE 5/19	Rd.04 鈴鹿(東SP) 7/7	Rd.05 もてぎ 7/21	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/22	Rd.09 もてぎ 10/20	Rd.10 鈴鹿 11/3	Total
1	31	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	10	6	(R)	10	(9)	10	6	6	10	4	62
2	1	本山 哲	XBOX TEAM IMPUL	(R)	10	10	2	10	(R)	4	10	4	10	60
3	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	2	4	(R)	4	4	(R)	10	(8)	6	3	33
4	8	土屋 武士	Team LeMans	6	1	4	(NS)	6	3	(R)	(7)	1	6	27
5	32	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	4	(10)	6	(R)	(13)	2	(R)	3	3	1	19
6	6	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	3	(NS)	-	-	3	4	3	4	(12)	(11)	17
7	56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	(R)	(R)	3	1	2	1	2	2	(R)	(7)	11
8	5	服部 尚貴	TEAM 5ZIGEN	1	(R)	(R)	3	1	(12)	1	1	(8)	2	9
9	6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	8
10	68	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	-	-	(7)	(8)	(11)	6	(7)	(R)	(7)	(R)	6
11	3	荒 聖治	Olympic KONDO Racing Team	(8)	3	(9)	(10)	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(10)	3
12	7	D.シュワガー	Team LeMans	-	-	(R)	(11)	(R)	(8)	(9)	(10)	2	(R)	2
12	10	黒澤 治樹	FORWARD NOVA	(9)	2	(R)	(14)	(12)	(10)	(12)	(R)	(R)	(12)	2
14	11	B.トレレイエ	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	(11)	(R)	1	(7)	(7)	-	-	-	-	-	1
2	M.クルム	XBOX TEAM IMPUL	(7)	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
14	五十嵐 勇大	MOONCRAFT	(R)	(R)	(11)	(13)	(10)	(7)	(R)	(R)	(13)	(R)	(R)	0
22	伊藤 大輔	Team 22	(10)	(9)	(10)	(9)	(8)	(9)	(8)	(11)	(10)	(8)	(8)	0
4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	(12)	(R)	(8)	(12)	(R)	(11)	(10)	(12)	(14)	(9)	(9)	0
68	J.コシエ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(13)	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	0
9	山本 清大	ソノ・オン・デマンド NOVA	(15)	(11)	(12)	(R)	(R)	(R)	(13)	(NS)	(15)	(13)	(13)	0
7	影山 正美	Team LeMans	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはレイナード99L~2KL~01L、エンジンは無限MF308を全車が使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2003

DRIVER

TEAM

## 2003 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM IMPUL	91	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	23
2	Forum eng. ARTA Team LeMans	38	7	TEAM 5ZIGEN	17
3	PIAA NAKAJIMA RACING	33	8	CARROZZERIA Team MOHN	1
4	TEAM 22	31			
5	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2003 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/23	Rd.02 富士 4/6	Rd.03 MINE 4/27	Rd.04 もてぎ 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/6	Rd.06 SUGO 7/27	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 MINE 9/21	Rd.09 もてぎ 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/2	Total
1	19	本山 哲	TEAM IMPUL	10	10	10	(9)	(14)	10	6	(13)	6	4	56
2	20	B.トレレイエ	TEAM IMPUL	(R)	6	(R)	(R)	6	3	10	10	(9)	(R)	35
3	22	脇阪 寿一	TEAM 22	(R)	2	(R)	10	4	4	(R)	1	(R)	10	31
4	7	金石 年弘	Forum eng. ARTA Team LeMans	4	(8)	2	(7)	(R)	(8)	(R)	6	10	(R)	22
4	2	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	(7)	1	(R)	6	4	(9)	2	(R)	22
6	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(9)	(R)	(R)	4	10	2	(R)	(R)	4	(9)	20
7	12	井出 有治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(7)	4	6	(7)	(10)	(R)	4	(12)	2	19
8	8	土屋 武士	Forum eng. ARTA Team LeMans	(R)	(R)	6	3	2	(7)	1	(12)	1	3	16
9	5	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	(R)	4	3	2	3	(R)	(R)	(R)	(13)	1	13
10	1	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(12)	1	(R)	(R)	1	(R)	(R)	(14)	3	6	11
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	2	(9)	(R)	(R)	(15)	1	2	2	(14)	(R)	7
12	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	(R)	(R)	(11)	(8)	(9)	(9)	3	(7)	(11)	3
12	6	J.コートニー	TEAM 5ZIGEN	-	-	-	-	-	-	3	(7)	(R)	(R)	3
14	28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	1	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	1
14	6	福田 良	TEAM 5ZIGEN	(7)	(R)	1	(R)	(13)	-	-	-	-	-	1
4	D.シュワガー	Olympic KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(9)	(11)	(7)	(8)	(10)	(8)	0
10	加藤 寛規	OIZUMI TEAM NOVA	-	-	-	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(7)	0
3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	(10)	(12)	(10)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(R)	(R)	0
10	五十嵐 勇大	TEAM NOVA	-	-	-	-	(10)	(12)	(8)	-	-	-	-	0
9	黒澤 治樹	PLANEX EBRO NOVA	(R)	(R)	(9)	(10)	(11)	(R)	(R)	(R)	(11)	(R)	(12)	0
10	藤澤 哲也	カッチャオ TCPRO NOVA	(11)	(11)	(R)	(12)	-	-	-	-	-	-	-	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローバB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車無限MF308を使用。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2004

DRIVER

TEAM

## 2004 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	62	6	Yellow Hat KONDO Racing Team	10
2	PIAA NAKAJIMA RACING	50	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	7
3	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	40			
4	Team LeMans/Team LeMans Spirit	37			
5	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2004 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/28	Rd.02 SUGO 5/2	Rd.03 もてぎ 6/6	Rd.04 鈴鹿 7/4	Rd.05 SUGO 8/1	Rd.06 MINE 8/29	Rd.07 セパン 9/19	Rd.08 もてぎ 10/24	Rd.09 鈴鹿 11/7	Total
1	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	10	(8)	10	3	(8)	(9)	6	4	33
2	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	10	(8)	(R)	(R)	10	4	(7)	33
3	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	(12)	6	6	4	(7)	(7)	(10)	10	6	32
4	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	(R)	1	3	6	(10)	10	(7)	(R)	10	30
5	7	鶴坂 寿一	Team LeMans	(13)	4	(R)	2	4	6	4	(R)	3	23
6	1	本山 哲	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	2	(12)	2	3	10	1	(R)	2	1	21
7	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	10	(9)	(9)	(7)	6	(R)	1	(9)	(8)	17
8	25	片岡 龍也	Team LeMans Spirit	(10)	(11)	4	(13)	(R)	3	2	3	(12)	12
9	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(7)	(7)	(R)	(10)	1	(10)	6	(R)	(10)	7
10	3	道上 龍	Yellow Hat KONDO Racing Team	4	2	1	(R)	(R)	(11)	(8)	(10)	(13)	7
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(R)	(12)	(9)	(失)	(12)	3	1	(R)	7
12	2	金石 年弘	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	1	(13)	(10)	(R)	(12)	4	(R)	(R)	(11)	5
13	8	土屋 武士	Team LeMans	(11)	(10)	(7)	(11)	(8)	2	(R)	(R)	2	4
14	4	立川 祐路	Yellow Hat KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	1	2	(9)	(R)	(7)	(9)	3
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(9)	(8)	(11)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(14)	0
27		山西 康司	CARROZZERIA Team MOHN	—	—	—	(12)	(9)	—	—	(8)	—	0
12		影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	—	—	—	—	—	(R)	(11)	(R)	(15)	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

# 2005

DRIVER

TEAM

## 2005 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast IMPUL/arting IMPUL	101	6	TEAM 5ZIGEN	14
2	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	37	7	TEAM CERUMO	2
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35			
4	KONDO Racing Team	21			
5	Forum Engineering Team LeMans	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2005 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 もてぎ 4/3	Rd.02 鈴鹿 4/17	Rd.03 SUGO 5/15	Rd.04 富士 6/5	Rd.05 鈴鹿 7/3	Rd.06 MINE 7/31	Rd.07 富士 8/28	Rd.08 もてぎ 10/23	Rd.09 鈴鹿 11/27	Total
1	23	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	3	3	10	6	10	4	(13)	10	6	52
2	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	6	10	2	(7)	(8)	10	4	3	4	39
3	1	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	10	2	6	3	4	(R)	3	(13)	2	30
4	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	10	(R)	10	20
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(R)	4	4	(8)	6	(R)	(11)	(9)	1	15
6	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	1	(9)	(R)	10	(R)	(失)	(12)	(11)	3	14
7	5	松田 次生	TEAM 5ZIGEN	(10)	6	(R)	4	1	3	(9)	(10)	(8)	14
8	8	土屋 武士	Forum Engineering Team LeMans	2	(R)	3	(R)	(R)	2	2	4	(R)	13
9	4	R.クインレルリ	KONDO Racing Team	—	—	—	2	2	6	(R)	2	(10)	12
10	3	山本 左近	KONDO Racing Team	(14)	(R)	(R)	(R)	3	(8)	(R)	6	(11)	9
11	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	(7)	(8)	(8)	(R)	(R)	(7)	6	1	(7)	7
12	2	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	4	1	1	(10)	(7)	1	(7)	(7)	(14)	7
13	11	平中 克幸	TEAM CERUMO	(8)	(R)	(R)	1	(R)	(R)	1	(12)	(9)	2
4		J.ヤニス	KONDO Racing Team	(12)	(7)	(7)	—	—	—	—	—	—	0
12		高木 虎之介	TAKAGI PLANNING with CERUMO	(9)	(R)	(11)	(9)	(10)	(9)	(8)	(R)	(12)	0
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(R)	(R)	(10)	(R)	(9)	(R)	(10)	(8)	(13)	0
27		加藤 正将	CARROZZERIA Team MOHN	(13)	—	—	—	—	—	—	—	—	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。  
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2006

DRIVER

TEAM

## 2006 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	88	6	Team LeMans	13
2	DHG TOM'S RACING	32	7	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	12
3	PIAA NAKAJIMA RACING	26	8	TEAM CERUMO	10
4	arting RACING TEAM with IMPUL	16	9	Team BOSS INGING Formula Nippon	6
5	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	13.5	10	KONDO RACING	4.5

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2006 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/2	Rd.02 鈴鹿 4/16	Rd.03 もてぎ 5/28	Rd.04 鈴鹿 7/9	Rd.05 オートポリス 8/6	Rd.06 富士 8/27	Rd.07 SUGO 9/17	Rd.08 もてぎ 10/22	Rd.09 鈴鹿 11/19	Total
1	19	B.トレレイエ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	5	4	6	10	(7)	10	6	10	(R)	51
2	20	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	(9)	2	6	10	(7)	4	6	6	37
3	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(8)	2	10	2	(8)	6	(R)	(R)	10	30
4	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(11)	10	1	(R)	(18)	(9)	10	3	1	25
5	1	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	2	(8)	4	4	(R)	4	2	(R)	(R)	16
6	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	1.5	6	3	(R)	1	1	1	(11)	(9)	13.5
7	7	片岡 龍也	Team LeMans	トヨタRV8J	(13)	(7)	(R)	1	4	(R)	(9)	4	4	13
8	11	立川 祐路	TEAM CERUMO	トヨタRV8J	(12)	(R)	(10)	3	3	2	(7)	2	(R)	10
9	55	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(16)	(R)	(R)	(R)	6	3	(R)	(R)	(7)	9
10	33	R.クインタレリ	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	1	(R)	(R)	(R)	2	(10)	3	(9)	(12)	6
11	3	山本 左近	KONDO RACING	トヨタRV8J	0.5	3	(14)	—	—	—	—	—	—	3.5
12	56	小暮 卓史	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(10)	(17)	(R)	(9)	(19)	(NS)	(失)	(R)	3	3
13	37	土屋 武士	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(9)	(10)	(R)	(7)	(9)	(R)	(8)	(8)	2	2
14	32	武藤 英紀	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(19)	1	(8)	(R)	(17)	(16)	(10)	(10)	(R)	1
14	4	柳田 真孝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(7)	(R)	(9)	(13)	(13)	(12)	(R)	1	(13)	1
5	道土 龍	TEAM RECKLESS 5ZIGEN	ホンダHF386E	(20)	(18)	(7)	(R)	(11)	(15)	(12)	(R)	(11)	0	0
34	横溝 直輝	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	(14)	(13)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(7)	(R)	0	0
8	高木 虎之介	Team LeMans	トヨタRV8J	(22)	(16)	(11)	(8)	(16)	(8)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	J.P.デ・オリベラ	TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	0
3	荒 聖治	KONDO RACING	トヨタRV8J	—	—	—	(10)	(10)	(18)	(13)	(R)	(R)	0	0
41	井出 有治	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	—	—	—	(12)	(12)	(11)	(R)	(R)	(10)	0	0
41,17	平中 克幸	DoCoMo TEAM DANDELION RACING EMS Racing	ホンダHF386E	(17)	(11)	(R)	—	(15)	(14)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	折目 遼	M&O with TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	(21)	(15)	(12)	(R)	(R)	(17)	(失)	(12)	—	0	0
27	密山 祥吾	DPR Direxiv	ホンダHF386E	(15)	(12)	(13)	(R)	—	—	—	—	—	0	0
2	星野 一樹	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	(18)	(14)	(R)	(R)	(14)	(13)	(R)	(R)	(14)	0	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。

●第1戦富士は雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのアンメイク。

# 2007

DRIVER

TEAM

## 2007 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	91	7	CARCHS KONDO RACING	18
2	PIAA NAKAJIMA RACING	72	8	Forum Engineering Team LeMans	8
3	Arabian Oasis TEAM IMPUL	50	9	TEAM CERUMO	7
4	DHG TOM'S RACING	48	10	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	6
5	INGING MOTORSPORT	27	11	TEAM RECKLESS CERUMO	4
6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

## 2007 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/1	Rd.02 鈴鹿 4/15	Rd.03 もてぎ 5/20	Rd.04 岡山 6/10	Rd.05 鈴鹿 7/8	Rd.06 富士 8/26	Rd.07 SUGO 9/16	Rd.08 もてぎ 10/21	Rd.09 鈴鹿 11/18	Total
1	2	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	8	6	6	5	(13)	4	4	5	46
2	1	B.トレレイエ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	10	(R)	5	8	(R)	8	8	6	(R)	45
3	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	6	10	4	(17)	(R)	10	10	(失)	41
4	19	本山 哲	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	10	3	(10)	10	(R)	5	(11)	10	38
5	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(R)	4	8	(R)	(13)	10	2	5	8	37
6	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	6	5	(R)	(19)	(11)	6	6	8	(R)	31
7	33	R.クインタレリ	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	4	3	4	10	(R)	2	1	3	(14)	27
8	4	J.P.デ・オリベラ	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(失)	(14)	1	5	2	3	(R)	1	6	18
9	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	5	(13)	(11)	(11)	8	1	(R)	2	1	17
10	20	M.クルム	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	2	2	1	4	(R)	(R)	(15)	(R)	12
11	37	荒 聖治	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(11)	(R)	(15)	2	(10)	5	(R)	(13)	4	11
12	11	立川 祐路	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(16)	1	(12)	3	(12)	4	3	(9)	(13)	11
13	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(14)	(10)	(16)	(R)	6	(16)	(R)	(R)	(10)	6
14	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	2	(R)	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(10)	3	5
15	41	F.カルボーン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(15)	(15)	(R)	(13)	3	(15)	(9)	(18)	(R)	3
16	8	高木 虎之介	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	(12)	(9)	(16)	1	(9)	(10)	(12)	2	3
34	横溝 直輝	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	(10)	(9)	(13)	(12)	(19)	(10)	(13)	(R)	(12)	0	0
56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(12)	(17)	(10)	(R)	(9)	(11)	(R)	(14)	(R)	0	0
3	柳田 真孝	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(9)	(18)	(R)	(15)	(14)	(12)	(12)	(16)	(R)	0	0
5	平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(11)	(17)	(14)	(18)	(14)	(11)	(17)	(11)	0	0
6	吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(13)	(19)	(18)	(17)	(15)	(17)	(R)	(R)	(15)	0	0
12	佐々木 孝太	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(17)	(16)	(14)	(18)	(16)	—	—	—	—	0	0
27	T.カナーン	KANAAN RACING	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(6)	—

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。●第9戦鈴鹿のNo.27 T.カナーンは特別参加のためポイント対象外。

●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのアンメイク。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2008

TEAM  
DRIVER

## 2008 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LAWSON TEAM IMPUL	114.5	7	Team LeMans	22
2	PIAA NAKAJIMA RACING	103	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	21
3	PETRONAS TEAM TOM'S	58	9	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	11
4	CERUMO/INGING	52.5	10	SG team 5ZIGEN	9
5	KONDO RACING	44	11	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	7.5
6	TP Checker TEAM IMPUL	42			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2008 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/6	Rd.02 鈴鹿 5/11	Rd.03 もてぎ 5/25	Rd.04 岡山 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/13	Rd.06 もてぎ 8/10	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 SUGO 9/21	Total
1	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	16	16	16	1(R)	11	9	4	5	93.5
2	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	1	10	15	3	4	10	(R)	62
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	10	12	12	8	2	(11)	(7)	49
4	20	平手 晃平	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	12	5	10	4	5	(R)	(NS)	42
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	5	6	(R)	2	6	(7)	4	(R)	41
6	4	J.P.オベラ	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	(R)	2	(11)	5	1	6	3	33
7	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	12	(17)	4	8	(17)	(12)	5	2	31
8	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	4	(R)	3	(R)	(13)	(15)	(R)	27
9	47	R.クインタレリ	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	6	3	(R)	4	(10)	(9)	(R)	(13)	21.5
10	56	伊沢 拓也	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(R)	2	8	6	(12)	(R)	(R)	(12)	19
11	7	本山 哲	Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	8	(16)	(R)	1	3	(9)	1	14
12	3	横溝 直輝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	5	(11)	5	2	(6)	(R)	(11)	12
13	67	R.ストレイト	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	トヨタRV8J	10	(15)	(R)	(R)	(11)	(10)	(R)	(9)	11
14	5	金石 年弘	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(11)	(R)	6	(14)	(R)	(14)	3	(R)	9
15	37	荒 聖治	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	(11)	1	1	(13)	(11)	2	5	9
16	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8J	4	(13)	3	(R)	(14)	(R)	(13)	(8)	9
17	41	土屋 武士	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	3	(14)	(14)	(12)	(16)	(R)	1	(14)	4
18	40	松浦 孝亮	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(12)	(16)	(12)	(13)	(9)	(R)	(10)	(6)	3.5
19	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	2	(18)	(15)	(R)	(15)	(R)	(12)	(R)	2
6		吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	-	-	-	-	(18)	(15)	(14)	(10)	0
6		平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(12)	(13)	(15)	-	-	-	(15)	0
20	R.ライアン	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~10位まで15-12-10-8-6-5-4-3-2-1点。予選ポールポジションにも1点。●1大会2レースの場合、第1レースの得点は1~8位に10-8-6-5-4-3-2-1点。第2レースは1~5位に5-4-3-2-1点。●1大会2レースの第2レースは、第1レースの結果でスタートグリッドが決まるため、ポールポジションの得点はなし。  
●第7戦富士の第2レースは雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マンはFNO6、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2009

TEAM  
DRIVER

## 2009 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	NAKAJIMA RACING	93	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25
2	PETRONAS TEAM TOM'S	52	7	HFDP RACING	20
3	LAWSON TEAM IMPUL	50	8	CERUMO/INGING	9
4	ahead TEAM IMPUL	31			
5	Team LeMans	31			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2009 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/5	Rd.02 鈴鹿 5/17	Rd.03 もてぎ 5/31	Rd.04 富士 6/28	Rd.05 鈴鹿 7/12	Rd.06 もてぎ 8/9	Rd.07 オートポリス 8/30	Rd.08 SUGO 9/27	Total
1	31	L.デュバル	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	5	10	(R)	11	11	8	6	11	62
2	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	10	9	8	(R)	6	6	1	(9)	40
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(10)	6	4	1	2	10	8	8	39
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	1	(R)	11	2	8	4	11	(10)	37
5	20	平手 晃平	ahead TEAM IMPUL	トヨタRV8K	7	5	(R)	4	4	1	5	6	32
6	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(11)	1	6	5	5	5	4	4	30
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR09E	3	4	5	3	(9)	(10)	(R)	5	20
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	8	2	(NS)	(R)	1	(9)	3	(11)	14
9	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	2	(R)	(R)	8	(10)	(11)	(9)	3	13
10	40	R.ライアン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	(R)	3	2	6	(13)	(R)	(10)	(13)	11
11	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(R)	(R)	3	(R)	(12)	4	2	2	11
12	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8K	4	(R)	(R)	(9)	3	2	(R)	(12)	9
13	7	国本 京佑	Team LeMans	トヨタRV8K	(9)	(9)	(NS)	(10)	(11)	(R)	(11)	1	1

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。●マンはFNO9、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2010

TEAM  
DRIVER

## 2010 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	Mobil 1 TEAM IMPUL	68	6	HFDP RACING	9
2	PETRONAS TEAM TOM'S	66	7	KCMG	4
3	NAKAJIMA RACING	56.5	8	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	40.5	9	KONDO RACING	1
5	Team LeMans	24	10	MOTUL TEAM 無限	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2010 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/23	Rd.03 富士 7/18	Rd.04 もてぎ 8/8	Rd.05 SUGO 9/26	Rd.06 オートポリス 10/17	Rd.07 鈴鹿 11/7	Total	
1	19	J.P.デ・オリベラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	11	6	3	(11)	8	2.5	9	47.5
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	6	8	(R)	6	10	3	4	43
3	1	L.デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	3	5	1(14)	10	9	(R)	9	2.5	39.5
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	11	3	4	9	4	(R)	4	3	38
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	5	2	10	6	(12)	1	(9)	1.5	25.5
6	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(12)	1	5	4	10	1(R)	2	1	24
7	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	2	4	2	5	(R)	4	1.5	2	20.5
8	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(10)	(R)	3	1	5	6	1	(10)	16
9	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR10E	1	8	(11)	(10)	(R)	(失)	(10)	(12)	9
10	7	K.コッツォリーノ	Team LeMans	トヨタRV8K	(R)	(10)	1	(13)	2	5	(13)	(14)	8
11	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	4	(11)	(9)	(11)	3	(R)	(11)	(11)	7
12	18	平中 克幸	KCMG	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	2	(R)	2	(12)	(13)	4
13	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	トヨタRV8K	(11)	(R)	(12)	(12)	(10)	3	(R)	(R)	3
14	3	松田 次生	KONDO RACING	トヨタRV8K	-	-	-	(R)	1	(R)	(14)	(9)	1
15	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	ホンダHR10E	(9)	(9)	(10)	(9)	(9)	(R)	0.5	0.5	1

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

# 2011

TEAM  
DRIVER

## 2011 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	90	6	Project μ/cerumo-INGING	6.5
2	TEAM IMPUL	41	7	TEAM 無限	4
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	8	Team KYGNUS SUNOCO	3
4	Team LeMans	32	9	SGC by KCMG	2.5
5	NAKAJIMA RACING	18.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2011 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 5/15	Rd.02 オートポリス 6/5	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 もてぎ 8/7	Rd.05 鈴鹿 9/4	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 もてぎ 11/6	Total	
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	-	10	8		10	9	9	56
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	10	6	6		6	4	4	42
3	1	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	6	11		(失)	(9)	3	28
4	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	2	7	4	5		5	3	0.5	26.5
5	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	4	8	(12)	1		4	(R)	2	19
6	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	1	(10)	3	2		8	1.5	1.5	17
7	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	8	(R)	2	(R)		2	2	2.5	16.5
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(9)	1	8	4		1	1	(R)	15
9	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	5	3	(10)	3		(失)	(R)	(10)	11
10	33	国本 雄資	Project μ/cerumo-INGING	トヨタRV8K	(13)	(11)	(15)	(12)		4	2.5	(失)	6.5
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR10E	1(R)	4	(9)	(14)		(11)	(12)	(R)	5
12	18	A.インベトーリ	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(10)	2	(R)	(11)		(12)	0.5	(R)	2.5
13	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	(11)	(R)	1	(9)		(10)	(11)	1	2
	10	小林 崇志	HP REAL RACING	ホンダHR10E	(R)	(9)	(11)	(15)		(R)	(10)	(11)	0
	11	武藤 英紀	HP REAL RACING	ホンダHR10E	-	-	-	(10)		-	(R)	(9)	0
	3	A.カルダレッリ	KONDO RACING	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	(13)		(9)	(R)	(R)	0
	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(12)	(R)	(14)	(16)		(13)	(13)	(R)	0
	36	井口 卓人	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	(12)	-	-		-	-	-	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●第5戦鈴鹿は悪天候のため中止。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2012

TEAM

---

DRIVER

## 2012 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	78.5	6	Project μ/cerumo・INGING	10
2	PETRONAS TEAM TOM'S	76.5	7	NAKAJIMA RACING	4
3	TEAM IMPUL	51.5	8	TEAM 無限	4
4	Team KYGNUS SUNOCO	25	9	HP REAL RACING	2
5	Team LeMans	21.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

## 2012 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/15	Rd.02 もてぎ 5/13	Rd.03 オートボリス 5/27	Rd.04 富士 7/15	Rd.05 もてぎ 8/5	Rd.06 SUGO 9/23	Rd.07 鈴鹿 11/4	Total	
1	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	6	4	9	5	4	(12)	8	46
2	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	8	4	11	(9)	6	8	3	3	43
3	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	4	5	8	(13)	4	11	8	1.5	41.5
4	1	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	11	(R)	10	8	(10)	2	0.5	35.5
5	19	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	6	8	(R)	3	11	3	2.5	1 (R)	34.5
6	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	(9)	(11)	6	5	3	6	1	4	25
7	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	5	1	3	6	(R)	5	0.5	1	21.5
8	20	松田 次生	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	1	3	5	4	2	(R)	5	(R)	20
9	38	平手 晃平	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(10)	(R)	2	2	1	1	(9)	2	8
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(15)	(R)	(10)	(10)	(13)	(R)	1.5	2.5	4
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	2	2	(9)	(12)	(R)	(14)	(15)	(R)	4
12	10	金石 年弘	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(12)	(13)	(12)	(R)	(11)	2	(14)	(14)	2
13	39	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(14)	(9)	1	1	(10)	(13)	(11)	(12)	2
	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(11)	(12)	(13)	(16)	(9)	(11)	(13)	(9)	0
	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	—	—	—	—	(9)	(17)	(10)	0
	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(10)	(11)	(11)	(12)	(12)	(10)	(11)	0
	62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(13)	(14)	(R)	(14)	(R)	(15)	(16)	(13)	0
	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	—	—	—	(15)	(14)	—	—	—	0
	18	折目 遼	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(17)	(15)	(R)	(R)	(R)	(R)	(18)	(15)	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。—は不出場。●太字はポールポジション。  
●得点は各レース1~8位まで10・8・6・5・4・3・2・1点。ポールポジションにも1点。●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5・4・3・2.5・2・1.5・1・0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 2013

TEAM

---

DRIVER

## 2013 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	58.5	6	NAKAJIMA RACING	21
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	42	7	DANDELION RACING	14
3	TEAM IMPUL	37.5	8	REAL RACING	4
4	MUGEN	32.5	9	KONDO RACING	3.5
5	INGING MOTORSPORT	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2013 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/14	Rd.02 オートボリス 6/2	Rd.03 富士 7/14	Rd.04 もてぎ 8/4	Rd.05 韓国 8/25	Rd.06 SUGO 9/29	Rd.07 鈴鹿 11/10	Total	
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	5	6	6	1		6	9	4	37
2	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	—	11	10	8		8	—	—	37
3	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	—	8	6	6		11	—	—	31
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	(12)	1	11		(R)	(R)	8	24
5	19	J.P.デ・オリベラ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	3	5		(R)	3	(17)	19
6	20	松田 次生	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	4	(16)	(13)		4	2.5	(16)	18.5
7	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	11	(R)	4	(R)		(R)	(10)	(9)	15
8	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	6	(R)	(14)	4		1	(R)	4	15
9	38	平手 晃平	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(12)	(R)	8	(15)		(R)	2	1	11
10	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(10)	(10)	2	3		5	(R)	(15)	10
11	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	1	2	(11)	2		(R)	1.5	2.5	9
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(R)	(10)	(10)		2	4	(11)	6
13	8	A.カルダレッリ	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	2	—	—	—		—	(R)	2	4
14	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(14)	(9)	(12)	(R)		3	0.5	(13)	3.5
15	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(9)	3	(9)	(9)		(R)	(R)	(R)	3
16	2	J.ロンター	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(11)	—	—	—		—	1	1.5	2.5
17	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(18)	1	(R)	(11)		(R)	(11)	(12)	1
18	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	(15)	—	—	—		(11)	(9)	0.5	0.5
	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	(13)	(R)	(13)	(12)		(10)	(12)	(10)	0
	62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(17)	(11)	(R)	(16)		(9)	(14)	(14)	0
	18	R.ブラッドレー	KCMG	トヨタRV8K	(19)	(R)	(R)	(14)		(R)	(13)	(18)	0
	15	小林 崇志	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	(R)	(15)	(R)		—	—	—	0

●数字は得点。●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10・8・6・5・4・3・2・1点。ポールポジションにも1点。  
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5・4・3・2.5・2・1.5・1・0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2014

TEAM  
DRIVER

## 2014 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	79.5	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	46	7	TEAM 無限	12.5
3	P.MU/CERUMO_INGING	45.5	8	HP REAL RACING	10
4	Lenovo TEAM IMPUL	39.5	9	NAKAJIMA RACING	4
5	KONDO RACING	22			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2014 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/13	Rd.02 富士 5/18	Rd.03 富士 7/13	Rd.04 もてぎ 8/24	Rd.05 オートボリス 9/14	Rd.06 SUGO 9/28	Rd.07 鈴鹿 11/9	Total		
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	3	4	3	10	2	3	8	4	46	
2	19	J.P.デ・オバイ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	2	6	4	(R)	11	6	(R)	8	2.5	39.5
3	36	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	5	2.5	6	3	—	10	(R)	4	4	34.5
4	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	10	3	2.5	—	5	(15)	6	(11)	3	29.5
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	6	(R)	(11)	5	8	1	3	2	1	26
6	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	8	1.5	(17)	1	1	4	5	1.5	(10)	22
7	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	(13)	2	1	6	(13)	8	(9)	2.5	(R)	19.5
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	5	(R)	0.5	8	(10)	(13)	1	(16)	2	16.5
9	1	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(11)	(R)	2	4	(15)	3	3	1	1.5	14.5
10	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	(R)	(15)	(12)	(9)	(9)	10	(12)	(9)	10
11	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	(14)	(NS)	(9)	(R)	3	5	(R)	0.5	(13)	8.5
12	36*	A.カルダレリ	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	—	—	1	6	—	—	—	—	7
13	20	N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(R)	1	1.5	2	(R)	(17)	(11)	(10)	0.5	5
14	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(10)	(10)	(12)	(11)	4	(10)	(12)	(13)	(12)	4
15	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(9)	(14)	(9)	(16)	(12)	4	(9)	(15)	4
16	11	V.リウツツ	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	1	0.5	(10)	(R)	(14)	(R)	(R)	(15)	(11)	1.5
34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	—	—	—	—	—	—	(R)	(14)	(14)	0	
32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(NS)	(R)	(11)	(R)	(10)	(R)	(16)	0	
2	中山 友貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(12)	(12)	(18)	(13)	(12)	(14)	(14)	(R)	(17)	0	
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(R)	(13)	(16)	(10)	(R)	(16)	(13)	(R)	(18)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRI4A	(R)	(11)	(13)	(R)	(17)	(11)	(R)	(R)	(19)	0	

●数字は得点。●( )は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1~8位まで7-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。  
\*A.カルダレリはRd.3にNo.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMansで出場。

# 2015

TEAM  
DRIVER

## 2015 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	80.5	7	NAKAJIMA RACING	7
2	P.MU/CERUMO · INGING	56	8	KONDO RACING	5
3	LENOVO TEAM IMPUL	37	9	REAL RACING	4.5
4	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	33	10	DRAGO CORSE	2.5
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25	11	KCMG	1.5
6	TEAM 無限	21			

●得点は各チームに所属するドライバーポイントの合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2015 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 岡山 5/24	Rd.03 富士 7/19	Rd.04 もてぎ 8/23	Rd.05 オートボリス 9/13	Rd.06 SUGO 10/18	Rd.07 鈴鹿 11/8	Total	
1	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	4	11	6	11	9	4	4	2.5	51.5
2	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	8	—	8	8	10	5	2.5	4	45.5
3	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	10	1	4	5	(11)	11	9	(R)	40
4	19	J.P.デ・オバイ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	5	4	10	6	4	2	(R)	3	34
5	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	1	5	(12)	1	2	8	(14)	9	26
6	8	小林 可夢偉	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(9)	8	(10)	(17)	6	3	3	(9)	20
7	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	1	6	1	3	(10)	6	2	(R)	19
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(12)	(9)	3	2	5	1	(10)	2	13
9	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	(17)	(R)	5	(18)	1	(17)	1	0.5	7.5
10	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	3	(12)	(R)	4	(9)	(12)	(R)	(10)	7
11	41	N.カーティケヤン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(10)	(R)	(9)	(14)	(13)	(12)	(14)	6
12	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	(16)	(R)	2	(12)	3	(14)	(R)	(R)	5
13	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	2	2	(11)	(10)	(12)	(R)	0.5	(15)	4.5
14	20	A.カルダレリ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(11)	3	1	(11)	(15)	(16)	(R)	(12)	4
15	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(16)	(14)	(13)	(11)	1.5	1	2.5
16	18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(13)	(R)	(15)	(16)	(19)	(10)	(R)	1.5	1.5
10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	(NS)	(14)	(13)	(R)	(17)	(9)	(9)	(11)	0	
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRI4A	(14)	(13)	(14)	(13)	(18)	(15)	(13)	(13)	0	
65	B.バゲット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(10)	(11)	(R)	(15)	(16)	(18)	(11)	(R)	0	
1	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	(15)	—	—	—	—	—	—	0	

●数字は得点。●( )は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=スタートできず、—は不出場。●得点は各レース1位~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1位~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。ポールポジションにも1点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

# 1996-2016 DRIVER & TEAM POINT RANKING

# 2016

TEAM

---

DRIVER

## 2016 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	54	6	TEAM 無限	14.5
2	VANTELIN TEAM TOM'S	51	7	REAL RACING	14.5
3	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	42	8	KONDO RACING	12
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	9	DRAGO CORSE	8
5	NAKAJIMA RACING	15	10	SUNOCO TEAM LEMANS	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。  
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

## 2016 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/24	Rd.02 岡山 5/29	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 碓氷 8/21	Rd.05 岡山 9/10	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 鈴鹿 10/30	Total		
1	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRI4A	8	1.5	(R)	5	4	5	(15)	8	1.5	33
2	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRI4A	2	0.5	5	8	(12)	2.5	4	4	4	30
3	20	関口 雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(14)	(13)	6	11	(13)	(9)	11	(18)	0.5	28.5
4	41	S.バンドーン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(12)	1	3	5	1	3	(17)	8	27
5	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRI4A	(11)	6	3	6	1	3	(16)	4	4	27
6	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRI4A	(12)	(17)	8	2	1	4	5	2	(16)	22
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	11	2	(R)	1	(10)	1.5	(14)	(19)	(R)	15.5
8	19	J.P.デ・オリベラ	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(10)	(19)	10	(R)	0.5	2	(R)	0.5	2.5	15.5
9	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	2.5	(13)	(R)	2.5	1	6	2.5	(R)	14.5
10	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	3	(9)	4	4	(9)	(10)	1	(12)	(15)	12
11	10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	4	4	1	(12)	2	(11)	(11)	(11)	(12)	11
12	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	1	(R)	(10)	1.5	(12)	8	(10)	(10)	10.5
13	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	5	(15)	(12)	(11)	(11)	(14)	2	1	(9)	8
14	7	N.カーティケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRI4A	(R)	(16)	2	(R)	3	(R)	(12)	(15)	(14)	5
15	65	B.バゲット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	1	(14)	(14)	(R)	(14)	(18)	(9)	1.5	2	4.5
16	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	(8)	3	(11)	(14)	(16)	0.5	(13)	(16)	(R)	3.5
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRI4A	(16)	(18)	(10)	(9)	(18)	(17)	(17)	(9)	1	1
18		中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(13)	(10)	(9)	(15)	(17)	(13)	(R)	(14)	(11)	0
	4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRI4A	(15)	(11)	(R)	(13)	(15)	(15)	(10)	(13)	(13)	0

●数字は得点。 ●( )は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。 ●太字はポールポジション。 ●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。  
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-1-1.5-1-0.5点。 ●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。 ●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。



## Formula Nippon/SUPER FORMULA 歴代チャンピオン [ドライバー/チーム]



ドライバー  
ラルフ・シューマッハー(ドイツ)  
X-JAPAN Racing Team LeMans

チーム  
X-JAPAN Racing Team LeMans  
ラルフ・シューマッハー/藤部尚貴



1996



ドライバー  
ペドロ・デ・ロサ(スペイン)  
SHIONOGI TEAM NOVA

チーム  
SHIONOGI TEAM NOVA  
ペドロ・デ・ロサ/飯田豊



1997



ドライバー  
本山 哲(日本)  
LEMONed Racing Team LeMans

チーム  
LEMONed Racing Team LeMans  
N.フォンタナ/本山 哲



1998



ドライバー  
トム・コロネル(オランダ)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム  
PIAA NAKAJIMA RACING  
トム・コロネル/光貞秀俊



1999



ドライバー  
高木 虎之介(日本)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム  
PIAA NAKAJIMA RACING  
高木虎之介/松田次生



2000



ドライバー  
本山 哲(日本)  
excite TEAM IMPUL

チーム  
TEAM 5ZIGEN  
藤部尚貴/ミハエル・クルム



2001



ドライバー  
ラルフ・ファーマン(イギリス)  
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム  
PIAA NAKAJIMA RACING  
ラルフ・ファーマン/松田次生



2002



ドライバー  
本山 哲(日本)  
TEAM IMPUL

チーム  
TEAM IMPUL  
本山哲/フノワ・トレルイエ



2003



ドライバー  
リチャード・ライアン(イギリス)  
DoCoMo TEAM DANDELION RACING

チーム  
mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ/井出有治



2004

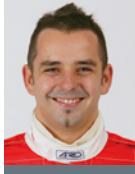


ドライバー  
本山 哲(日本)  
mobilecast IMPUL/arting IMPUL

チーム  
mobilecast IMPUL/arting IMPUL  
フノワ・トレルイエ/井出有治/本山哲



2005



ドライバー  
フノワ・トレルイエ(フランス)  
mobilecast TEAM IMPUL

チーム  
mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ/松田次生



2006



ドライバー  
松田 次生(日本)  
mobilecast TEAM IMPUL

チーム  
mobilecast TEAM IMPUL  
フノワ・トレルイエ/松田次生



2007



ドライバー  
松田 次生(日本)  
LAWSON TEAM IMPUL

チーム  
LAWSON TEAM IMPUL  
松田次生/フノワ・トレルイエ



2008



ドライバー  
ロイク・デュバル(フランス)  
NAKAJIMA RACING

チーム  
NAKAJIMA RACING  
ロイク・デュバル/小暮卓史



2009



ドライバー  
ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ(ブラジル)  
Mobil 1 TEAM IMPUL

チーム  
Mobil 1 TEAM IMPUL  
ジャン・バオロ・デ・オリベイラ/平手晃平



2010



ドライバー  
アンドレ・ロッター(ドイツ)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
PETRONAS TEAM TOM'S  
アンドレ・ロッター(井口卓人)/中嶋一貴



2011



ドライバー  
中嶋 一貴(日本)  
PETORONAS TEAM TOM'S

チーム  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING  
伊沢拓也/塚越広大



2012



ドライバー  
山本 尚貴(日本)  
TEAM 無敵

チーム  
PETRONAS TEAM TOM'S  
中嶋一貴/アンドレ・ロッター(ジェームス・ロスター)



2013



ドライバー  
中嶋 一貴(日本)  
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム  
PETRONAS TEAM TOM'S  
アンドレ・ロッター(アンドレア・カルダレッツィ)/中嶋一貴



2014



ドライバー  
石浦 宏明(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

チーム  
PETRONAS TEAM TOM'S  
中嶋一貴(大嶋和也)/アンドレ・ロッター



2015



ドライバー  
国本 雄資(日本)  
P.MU/CERUMO-INGING

チーム  
P.MU/CERUMO-INGING  
石浦宏明/国本雄資



2016

# Formula NIPPON 1996-2012 SUPER FORMULA 2013-2016

- ★シリーズ戦のみを対象とし、10～13年のJAF GP 富士スプリントカップの成績は含まない。
- ★FN時代のシリーズ戦の大会数は、96～03年=各10大会、04～07年=各9大会、08～09年=各8大会、10～12年=各7大会で、全153大会。
- ★SF時代のシリーズ戦の大会数は、各年とも全7大会だが、13年第5戦韓国大会は開催予定時期の約1カ月前に中止となっているため、統計から完全に除外。よって13～16年のSFの総大会数は27。
- ★96～16年の計21シーズンにおけるシリーズ戦の総大会数は180とする。
- ★98年第7戦は決勝中止、11年第5戦は予選・決勝とも中止。
- ★08年第5～7戦と10～16年の各最終戦、14年第2戦、16年第5戦が2レース制のため、決勝レースの実施総数は190(中止2戦含まず)。決勝出走等の統計に関しては、第1レースと第2レースをそれぞれ個別同等に扱う。
- ★08年第5～7戦の第2レースのグリッドは、第1レースの決勝結果による上位8台リバース制のため、「予選」としては取り扱わない(ポールポジションやポール・トゥ・ウィン、連続ポール等の統計対象とはしない)。10～16年各最終戦と14年第2戦、16年第5戦の予選に関しては、第1レース、第2レースを個別に統計対象とする。予選の実施総数は188(中止1戦含まず。決勝中止の98年第7戦の予選は統計に含む)。
- ★通常予選の実施後にスペシャルステージ(SS: 上位、あるいは全車による単独アタック方式)を実施した場合は、SS1位がポールポジション。Q1～Q3ノックアウト方式の場合は、Q3の1位をポールポジションとなるが、10～16年最終戦と14年第2戦ではQ1結果が第1レースの予選結果、Q3まで経た結果が第2レースの予選結果となっているため、それぞれ個別同等にポールポジションとして扱う。16年第5戦は第1レース(初日)、第2レース(2日目)に対しての予選がそれぞれ当日に実施されたので、これも統計上、個別同等に扱う(第2レースの予選はQ1～Q2ノックアウト方式)。
- ★03年第5戦と04年第2、4、7戦は2ヒート制での実施(赤旗によるものではなく、あらかじめの2ヒート制)。いずれかのヒートに出走していれば「決勝出走」と判断する。ポールポジション、ポール・トゥ・ウィン等に関しては、予選セッションの1位を統計対象とする(第1ヒート=実質的な予選レースの1位は統計対象としない)。ファステストラップは、原則として第2ヒート=実質的な決勝レースを統計対象とする。
- ★06年第1戦、08年第7戦第2レース、16年第2戦はセーフティカー先導走行のみで決勝レースが決着したため、ファステストラップに関しては統計対象としない。なお06年第1戦と16年第2戦に関してはポール・トゥ・ウィンの対象とする(08年第7戦第2レースはリバースグリッドのため、ポール・トゥ・ウィンの対象とはしない)。
- ★決勝失格者のファステストラップの有効性に関しては年代によって記録削除の方法等異なるが、ここでは原則無効とする。
- ★この記録を統計するにあたっては、JAF、JRP、ブリヂストンの各サイトおよび、オートスポーツ誌、レーシングオン誌等を参考にした。解釈に関しての相違点等がそれぞれにあるため、必ずしもそれらの統計とは数字等が一致しない場合もある。

## 優勝回数

1	本山 哲	27回
2	A.ロッテラー	23回
3	L.デュバル	12回
4	高木虎之介	11回
	B.トレルイエ	11回
6	J.P.デ・オリベイラ	10回
7	中嶋一貴	8回
8	R.ファーマン	7回
	松田次生	7回
	小暮卓史	7回
11	P.デ・ラ・ロサ	6回
12	服部尚貴	5回
	脇阪寿一	5回
14	R.ライアン	4回
15	R.シューマツハー	3回
	N.フォンタナ	3回
	影山正美	3回
	T.コロネル	3回
	井出有治	3回
	伊沢拓也	3回
	山本尚貴	3回
	石浦宏明	3回
23	金石勝智	2回
	影山正彦	2回
	光貞秀俊	2回
	平手晃平	2回
	関口雄飛	2回
	国本雄資	2回
	S.バンドーン	2回
30	星野一義	1回
	黒澤琢弥	1回
	金石年弘	1回
	R.クインタレリ	1回
	荒 聖治	1回
	松浦孝亮	1回
	大嶋和也	1回
	塚越広大	1回
	野尻智紀	1回

インバル：本山 哲

## ドライバーズチャンピオン獲得回数

1	本山 哲	4回(98、01、03、05年)
2	松田次生	2回(07、08年)
	中嶋一貴	2回(12、14年)
4	R.シューマツハー	1回(96年)
	P.デ・ラ・ロサ	1回(97年)
	T.コロネル	1回(99年)
	高木虎之介	1回(00年)
	R.ファーマン	1回(02年)
	R.ライアン	1回(04年)
	B.トレルイエ	1回(06年)
	L.デュバル	1回(09年)
	J.P.デ・オリベイラ	1回(10年)
	A.ロッテラー	1回(11年)
	山本尚貴	1回(13年)
	石浦宏明	1回(15年)
	国本雄資	1回(16年)



◀21シーズンで16人の王者が生まれている。日本人7名、外国人9名だが、タイトル総数は日本勢12：来日勢9と日本勢やや優位。もちろんこれには、外国人勢にF1参戦等による卒業が多かった影響もあるだろう。最多4度を誇る本山には連覇がなく、07～08年の松田がFN～SFにおける現状唯一の連覇。最年少王者はシューマツハーで、戴冠時21歳4カ月弱。最年長での王座獲得は本山の4度目(05年)で、戴冠決定時(第8戦)34歳7カ月半だった。15年に初戴冠した石浦は、最終戦での王座決定時34歳6カ月半。

インバル：本山 哲



## 決勝出走回数

1	本山 哲	125回
2	小暮卓史	119回
3	松田次生	116回
	A.ロッテラー	116回
5	立川祐路	100回

▲上位5人。決勝出走というのは最も記録として曖昧な部分が多く、統計誤差が生じやすい部門であることをご承知おきいただきたい。赤旗再スタートに不参加の場合、最初のスタートに参加していれば「出走」と判断。また、フォーメーションラップ中や発進前のマシントラブル発生、スピン等による離脱に関しては、正式スタート後にコースインしていない限り「不出走」としている。それらを基準に可能な範囲の確認を行ない、上位5人を選定した。

インバル：本山 哲



▲38人が優勝者リストに名を刻んでおり、現状は7勝でトップ10という位置づけになっている(なお星野、服部、黒澤、高木については全日本F3000での優勝経験があり、星野に関してはF3000以前のF2等でも優勝経験があるが、それらは統計に含まれていない)。

## ポールポジション獲得回数

1	本山 哲	20回
2	小暮卓史	15回
3	高木虎之介	14回
4	松田次生	13回
5	A.ロッテラー	10回
6	脇阪寿一	9回
	J-P.デ・オリベイラ	9回
8	B.トレルイエ	8回
	L.デュバル	8回
	山本尚貴	8回
11	R.ライアン	7回
12	R.ファーマン	6回
	石浦宏明	6回
14	土屋武士	5回
15	P.デ・ラ・ロサ	4回
	T.コロネル	4回
	中嶋一貴	4回
18	服部尚貴	3回
	伊沢拓也	3回
20	M.クルム	2回
	R.シューマッハー	2回
	黒澤琢弥	2回
	影山正美	2回
	道上 龍	2回
	井出有治	2回
	大嶋和也	2回
	塚越広大	2回
	A.カルダレリ	2回
	関口雄飛	2回
30	鈴木利男	1回
	星野一義	1回
	金石勝智	1回
	N.フォンタナ	1回
	影山正彦	1回
	野田英樹	1回
	光貞秀俊	1回
	P.ダンブレック	1回
	金石年弘	1回
	平手晃平	1回
	S.バンドーン	1回
	野尻智紀	1回

インバル：本山 哲



▲41人がFN～SFで予選1位という荣誉に輝いている。統計対象は予選1位という意味でのポールポジションなので、03～04年の一部レース、2ヒート制の場合の第1ヒート1位はカウントされない(予選1位の方をカウント)。どちらかというと参戦年数が長い日本勢が上位を占める傾向にあるが、優勝回数はそうっていないところが興味深いところ。つまり、本山や中嶋一貴以外の日本勢は、ポールの数ほど勝っていない傾向にある。



インバル：本山 哲

## 決勝ファステストラップ獲得回数

1	本山 哲	20回
2	J-P.デ・オリベイラ	15回
3	脇阪寿一	10回
	小暮卓史	10回
	A.ロッテラー	10回
6	L.デュバル	9回
7	野田英樹	6回
	松田次生	6回
9	R.ライアン	5回
	B.トレルイエ	5回
	中嶋一貴	5回

▲上位11人(5回以上)。優勝よりもポールやファステストの数が多いう傾向の脇阪、小暮がチャンピオンにはなれず、3部門とも首位だが、なかでも優勝数が最も多い本山は4度王座に就いていることが象徴的ではある。レース後半に追い上げていくことが多い原則のファステストは、優勝数より多くならない方が理想的といえるのだろう。本山の記録傾向は見事な王者型。

## ポール・トゥ・ウイン達成回数

1	本山 哲	10回
2	高木虎之介	8回
3	J-P.デ・オリベイラ	7回
	A.ロッテラー	7回
5	小暮卓史	5回
	L.デュバル	5回
7	P.デ・ラ・ロサ	4回
	B.トレルイエ	4回
	松田次生	4回
10	R.ファーマン	3回
	山本尚貴	3回
	石浦宏明	3回

▲上位12人(3回以上)。レース中の順位変動には関係なく、ポールポジション=予選1位と優勝を同時に記録した、という解釈になる(第1ヒート=予選レースの結果は無視)。高木はチャンピオンとなった00年にこれを5回も達成。97年のデ・ラ・ロサ、08年の松田も各4回と圧倒的な強さを誇った。なお、トレルイエ(06年第1戦)と石浦(16年第2戦)には、セーフティカー先導走行のみのレースが含まれる。17年参戦選手のうち、歴代トップ12以外では伊沢拓也、中嶋一貴、関口雄飛が各2回、塚越広大が1回。



インバル：本山 哲



ナカジマ：高木虎之介

## 連続優勝

1	高木虎之介	6連勝(00年第4～9戦)
2	本山 哲	4連勝(02年第10戦～03年第3戦)
3	R.ファーマン	3連勝(01年第9戦～02年第1戦)
	松田次生	3連勝(08年第1～3戦)
	A.ロッテラー	3連勝(11年第6戦～第7戦第2レース)

▲3連勝以上。本山とファーマンの記録はシーズン跨ぎのもの。あまり連勝はできない接戦のシリーズだけに、ここでも00年の高木のケタ外れの強さが光る。

## 連続ポールポジション

1	松田次生	6回(08年第1～6戦)
2	R.ライアン	4回(04年第2～5戦)
	小暮卓史	4回(06年第5～8戦)
4	高木虎之介	3回(96年第4～6戦/00年第5～7戦)
	T.コロネル	3回(99年第6～8戦)
	本山 哲	3回(01年第2～4戦)
	脇阪寿一	3回(01年第6～8戦)
	土屋武士	3回(02年第6～8戦)
	小暮卓史	3回(07年第7～9戦)

▲予選1位という意味での連続ポール(リバースポールは除外して考える)。3連続以上を記載しているが、該当10例はいずれも同一シーズン内の記録。08年の松田は、あと2戦というところで全戦ポール達成を阻まれた。高木は3回連続を96年と00年に2度マークしている。



インバル：松田次生



インバル：ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

## PP+WIN+FL=ハットトリック達成回数

1	J-P.デ・オリベイラ	4回
2	L.デュバル	3回
3	高木虎之介	2回
	本山 哲	2回
	B.トレルイエ	2回
	A.ロッテラー	2回

▲上位6人(複数回記録者)。ポール・トゥ・ウインに加えて決勝ファステストラップも記録した完全勝利である。全体として少ない印象だが、初期のフォーミュラ・ニッポンには決勝ファステストラップ樹立者に高級腕時計が贈呈されていた時期もあったため、上位圏外でもそれを狙いにいったドライバーがいたことも影響しているか? オリベイラは14年に2度達成して通算回数トップに躍り出た。1回達成者は9人で、黒澤琢弥、P.デ・ラ・ロサ、影山正美、脇阪寿一、R.ファーマン、小暮卓史、松田次生、石浦宏明、関口雄飛。

## 年少初優勝

1	R.シューマッハー	20歳10カ月12日(96年第2戦)
2	松田次生	20歳11カ月3日(00年第3戦)
3	N.フォンタナ	21歳4カ月6日(96年第3戦)
4	平手晃平	22歳3カ月19日(08年第5戦第2レース)
5	高木虎之介	22歳4カ月25日(96年第5戦)



チームルマン：ラルフ・シューマッハー

▲各自の初優勝のみを対象とした5傑。シューマッハーと松田は実に僅差だった。高木は95年の全日本F3000でトップフォーミュラ初優勝を果たしており、当時21歳と6カ月弱。実質的には平手より上位になる。なお、日数の端数の数え方は、月毎の誕生日を基点にした決勝日までの日数で、決勝日を含むものとした(冊子「History of Formula NIPPON 1996-2012」の作成時は、決勝日を含まない「完全経過日数」で記載したため、1日ずつの違いが生じる。その後、より一般的な記載法に準じて変更した)。

▼各自の最終優勝のみを対象とした5傑。36歳時に3勝、34歳時にチャンピオンを獲得している本山のすごさがあらためてクローズアップされる記録だが、昨年16年はこの部門で2つのトップ5以内記録が誕生。今季17年も石浦、ロッテラー、小暮、カーティケヤンらに35歳以上の優勝の可能性がある。星野一義の偉業には、最大限の敬意を払いたい(日数の端数については「年少初優勝」部門と同じ)。



インバル：星野一義

## 年長最終優勝

1	星野一義	48歳9カ月27日(96年第1戦)
2	本山 哲	36歳8カ月14日(07年第9戦)
3	石浦宏明	35歳1カ月6日(16年第2戦)
4	J-P.デ・オリベイラ	35歳0カ月4日(16年第3戦)
5	黒澤琢弥	34歳11カ月25日(97年第3戦)

## チーム別優勝回数

1	インバル	58回
2	ナカジマ	42回
3	トムス	29回
4	チームルマン	16回
5	ダンディライアン	14回
6	ノバ	10回
7	スーパーアグリ~ARTA セルモ・インギング	5回
9	5ZIGEN	4回
10	無限	3回
11	TEAM22	2回
12	インギング	1回
	KONDO	1回

▲「チーム」という定義付けは実に難しく、エントラント名と実質的なチーム母体が異なる場合をどうするか、などの問題がある。ARTAの一時期の勝利、およびTEAM22の全2勝は、チームルマンがメンテナンスを実行していた時期のものだが、それらはARTA、TEAM22の勝利としてカウントしている。03年の金石年弘(Forum eng. ARTA Team LeMans)の勝利はチームルマンとしてカウント。また、セルモとの合併以前のインギングの勝利は別扱いとした。セルモ・インギングとしては15年が初優勝。インバルは96年から毎年1勝以上を継続していたが、13年に途切れた(17年連続でストップ)。06年からの参戦でありながらすでに29勝を挙げて歴代3位となっているトムスの躍進は特筆もの(しかし16年に初の年間0勝)。



インバルの星野一義監督(左)

## チームタイトル獲得回数

1	インバル	7回(03、04、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
	トムス	4回(11、13、14、15年)
4	チームルマン	2回(96、98年)
5	ノバ	1回(97年)
	5ZIGEN	1回(01年)
	ダンディライアン	1回(12年)
	セルモ・インギング	1回(16年)

▲インバルは03~08年に6連覇を達成。21シーズン中、16シーズンがドライバー&チームの2冠達成というかたちになっている。

## チーム別ドライバースチャンピオン輩出回数

1	インバル	7回(01、03、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
3	トムス	3回(11、12、14年)
4	チームルマン	2回(96、98年)
	セルモ・インギング	2回(15、16年)
6	ノバ	1回(97年)
	ダンディライアン	1回(04年)
	無限	1回(13年)

◀タイトルが“割れた”のは01年、04年、12年、13年、15年の5シーズン。ダンディライアンは現状各1回のタイトル獲得がそれぞれ別の年だった。

## 肖像権および知的所有権、著作物制作権について

SUPER FORMULA のエンタラントに帰属するすべての者（エンタラント代表、チーム監督、ドライバー、チームスタッフ、レースクイーンほか）はエンタラントの管理下に置かれ、SUPER FORMULA に参加することで発生する肖像権および知的所有権はすべてエンタラントに帰属します。但し、それらを用いて著作物を制作する、又は制作させる権利（著作物制作権）は全てその用途に関わらず全て株式会社日本レースプロモーション（JRP）に帰属します。詳しくは JRP までお問い合わせください。

## SUPER FORMULA のロゴ使用について

SUPER FORMULA のロゴ使用に際しては、『SUPER FORMULA VISUAL IDENTITY Regulation (V.I. 規定)』を参照してください。SUPER FORMULA の各ロゴの使用権利はすべて JRP にあり、許可なくこれを使用することを禁止します。詳しくは JRP にお問い合わせください。

### 会社概要

会社名	株式会社日本レースプロモーション (JAPAN RACE PROMOTION INC.)
設立	1995 年
資本金	6000 万円
所在地	東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
電話番号	03-3237-0131
FAX 番号	03-3237-0135
公式サイト	<a href="http://www.superformula.net/">http://www.superformula.net/</a>

主な事業内容：自動車競技会の運営に関する業務、自動車競技会のプロモーション、自動車競技会のスポンサー営業に関する業務、自動車競技会の PR に関する代理業務、自動車競技会／同映像のデータベース制作・管理・販売、モータースポーツに関連する調査、マーケティング業務、報道写真・ビデオ・フィルム等の制作、配信及び販売

### 沿革

1995 年	株式会社日本レースプロモーション設立。
1996 年	「全日本F3000 選手権シリーズ」に変わり、「全日本選手権フォーミュラ・ニッポン」シリーズがスタート。フジテレビによる地上波TV放送を開始。
1997 年	タイヤをブリヂストンのワンメイクとする。
1999 年	㈱フジテレビジョンが資本参加。
2003 年	ワンメイクシャシー“LOLA B351”を導入。
2006 年	シャシーを“FN06 (LOLA B06/51)”にスイッチ。本田技研工業(株)、トヨタ自動車(株)がV型8気筒3ℓの専用エンジン供給を開始。若手育成事業として“Formula Challenge Japan (FCJ)”の運営・プロモートを開始。
2008 年	車両にパドルシフトを採用。
2009 年	シャシーを“FN09 (SWIFT 017.n)”にスイッチ。エンジンをV型8気筒3.4ℓに変更すると同時に、オーバーテイクシステムを採用。
2010 年	第5戦富士スピードウェイ大会より、パワーステアリングを導入。地上波によるTV放送を休止し、J SPORTS による全戦生中継、BSフジによるダイジェスト放送を開始。
2011 年	ファミリー層を対象としたプロモーションイベント「Enjoy Kids」を、9月に宮城県名取市、11月に栃木県宇都宮市で開催。名取市でのイベントは東日本大震災からの復興を願って開催。 この年から出場全車両に「がんばろう! 日本 WE ARE ALL TOGETHER」のステッカーを貼付。
2012 年	4月、ハンドブック「良くなるフォーミュラ・ニッポン」を刊行。 宇都宮市で開催のプロモーションイベント“Smile Kids” (Enjoy Kids を改名) から配布開始。 Smile Kidsはこの年、全4回開催。 6月のイベントではJリーグ 川崎フロンターレとコラボし、等々力陸上競技場にて、サッカースタジアムでは日本初のデモ走行を実施。 9月には仙台市内の3つの小学校を訪問。ドライバー、エンジニアを講師として特別授業を行う。 8月のツインリンクもてぎ大会において、シリーズ名称を2013年から「全日本選手権スーパーフォーミュラ」に変更することを発表。 “スーパーフォーミュラ”の名称は、ファンからの公募により採用。2013年最終戦鈴鹿サーキットにて新ロゴを発表。 9月、2014年よりシャシーを“SF14” (イタリア ダラーラに製作委託) に変更することを発表。 10月、SF14用のパワーユニットをターボ過給 直列4気筒2ℓダイレクトインジェクションエンジンとすることを発表。 エンジンの開発・供給は本田技研工業(株)とトヨタ自動車(株)が行う。
2013 年	名称を変更したことを受け、3月に「History of Formula Nippon 1996-2012」を刊行。 6月に、所期の目標を達成し、“Formula Challenge Japan (FCJ)”の運営・プロモートの休止を発表。